

阪南市市民協働・共創事業評価シート

記入日 2025年 2月 20日

阪南市市民協働・共創事業提案制度を活用して協働で実施した事業について、成果と課題を広く共有するために、提起した視点で事業の評価を行ってください。

団体名	子どもNPO はらっば (担当者名：殿井 幸代)
担当課名	生涯学習推進室 (担当者名：森 寛)
事業名	放課後の子どもの居場所事業
事業開始からの実施期間	平成26年(西暦2014年) 4月 1日～ 年(年) 月 日
提案の区分	<input checked="" type="checkbox"/> 市民自由提案部門 <input type="checkbox"/> 市設定テーマ部門
協働の形態	<input checked="" type="checkbox"/> 事業委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 実行委員会・協議会 <input type="checkbox"/> その他()
事業の年度	<input type="checkbox"/> 初年度 <input type="checkbox"/> 継続2年目 <input type="checkbox"/> 継続3年目 <input checked="" type="checkbox"/> 継続4年以上(11 年目)

1. 事業の概要

(1) 事業の目的(事業を企画した課題、現状、背景についても記入してください)

子どもがありのままの自分でいられ、休息を取り戻し、自由に友だちとあそび、安心して人間関係を作りあうことができる「子どもの居場所」を定期的に地域に開設し、提供することを目的とする。

(2) 役割分担(団体、事業担当課それぞれの役割を記入してください)

団体	実施運営・広報チラシ作成
事業担当課	予算措置、委託契約、補助金申請、補助金実績報告、参加者への周知

(3) 事業費

団体	50,044 円		
	費目を記入(実務人件費 38,300 円 光熱水費 5,900 円 印刷代 219 円 消耗品費 5,625 円)		
市	579,600 円		
	費目を記入(委託費 476,000 円、施設使用料 103,600 円)		
合計	629,644 円		
初年度の事業費計	691,155 円	団体分担 131,155 円	市分担 560,000 円
前年度の事業費計	629,644 円	団体分担 50,044 円	市分担 579,600 円

(4) 事業の内容

※名称・日時・場所・参加人数・内容・収益など具体的に記入してください。

※活動の写真や資料があれば、添付してください。

①名称	阪南市☆キッズはらっぱ
②開催日時	毎週月曜日・金曜日 午後3時30分～5時（夏季休暇は午後1時～5時） 毎月1回土曜日午後3～5時 夏季休暇中の水曜日 午後1時～5時 土曜日午前10時～12時（不定期）
③開催場所	ふれ愛ホーム・東鳥取公民館・西鳥取公民館 市内小学校体育館
④対象者	小中学生
⑤参加人数	年間1,400～1,500人
⑥事業の内容	子どもがりのままの自分でいられ、休息を取り戻し、自由に友だちとあそび、安心して人間関係を作りあうことができる「子どもの居場所」を定期的に地域に開設し、提供する。
⑦収益	参加費無料（収益無し）
⑧その他	R5年度より必要となった公民館の施設使用料は、市が負担する。

(5) 事業に参加したのは想定した人たちでしたか。参加した人たちの反応はどのようなものでしたか。

※その人たちや組織に何らかの変容があれば、それも交えて記入してください。

<ul style="list-style-type: none">・小学一年生から利用している子どもたちが何年も参加している中で、友だち同士のケンカの仲裁に入ったりなだめたり、と関わる様子から子どもたちの成長を感じた。・継続して利用している子どもたちは居心地のいい場所、安心していられる自分の居場所と感じ、短い時間でもあそびに来ていた。・会場に見合ったあそびを見つけ、とくに広い東鳥取公民館では鬼ごっこや縄跳びをしたり、皿回し、コマ回しなど、昔あそびをスタッフと一緒に楽しんだりしていた。・土曜日午後の開設は、保護者の送迎があり学年、地域もいろいろで校区外の小学校との交流の場になっていた。また、中学生の利用もあり、あそびのリーダーとなって小学生と一緒にあそぶ場面も見られ、異年齢の交流にもなっており、ボランティアスタッフ的な存在になっている。・毎月、小・中学生に配布しているキッズはらっぱカレンダーのほかに、土曜開設の会場となる小学校へ個別のチラシを配布した。個別チラシの効果があり、平日の放課後には校区外で利用しにくい子どもたちが、通いなれた小学校が会場であり、参加しやすいという声があった。・夏休みキッズはらっぱは、13時から17時の長時間開催。工作の時間を設け「ヒンメリづくり」や「スーパーボールづくり」を楽しんだ。キッズカレンダーでお知らせしたので、どの会場もたくさんの参加があった。

(6) 協働で事業を進めるにあたり、工夫した点があれば、記入してください。

<ul style="list-style-type: none">・毎月、小・中学校に案内チラシ「キッズカレンダー」の配布、「広報はんなん」に掲載し広報に努めた。・「キッズカレンダー」以外に、土曜日開設の小学校体育館の個別チラシを配布し、「キッズはらっぱ」をこまめに案内することで周知と参加者を増やすことができた。

2. 協働事業の評価

- ・下記の評価項目について、それぞれの立場から評価してください。評価基準は5段階としてください。
 - ・大変よくできた（5点）
 - ・よくできた（4点）
 - ・できた（3点）
 - ・あまりできなかった（2点）
 - ・できなかった（1点）
 - ・評価項目として適当でない（N）
- ※「N」を選択した場合は、下記記述欄にその理由を記入してください。

(1) 評価

	評価項目		評価点		
			行政	団体	平均
事業実施前	1	実施する事業の課題・背景や目的を両者で確認・共有しましたか。	3	3	3
	2	事業の到達目標を協議して設定しましたか。	3	3	3
	3	事業の実施に際して、計画書や工程表の作成等、計画的な実施のため協議・工夫しましたか。	4	4	4
	4	事業を進めるための役割分担や責任を協議して決めましたか。	3	3	3
事業実施中	5	進捗管理、必要な情報共有をしましたか。	3	3	3
	6	状況の変化に応じて、協議しながら、柔軟な対応ができましたか。	4	4	4
	7	お互いの得意分野や人材・情報を活かし、協力しながら、事業を進めることができましたか。	4	4	4
事業実施後	8	設定した目標は達成できましたか。	4	4	4
	9	協働で事業に取り組んだことで、単独で実施するより、成果を上げることができましたか。	5	5	5
	10	責任の所在や役割分担は適切でしたか。	4	4	4
	11	事業には、当事者、関係者をはじめ、多様な人たちの参加を促すことができましたか。	3	3	3
	12	予算は妥当でしたか。	3	3	3
	13	課題の解決策や今後の方針について、協議を行いましたか。	4	4	4
	14	協働事業に取り組むことによって、組織に何らかの変化をもたらしましたか。	4	4	4

「N（評価項目として適当でない）」を選択した場合は、その理由を記入してください。

番号	理由

(2) 協働して良かったこと、団体や行政の単独ではなく協働で実施したことによりどのようなメリットがあったかなどを記入してください。

団体にとって	<ul style="list-style-type: none"> ・放課後の子どもの居場所は、一団体が保証するものではなく、阪南市全体の子どもたちとしてどう保証していくか、という協働目的に沿って実施できたこと。 ・会場の確保がスムーズにできる。
--------	--

	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の周知方法として、「広報はんなん」への掲載や、毎月の案内チラシを公共施設に配架、公立小中学校への配布により、子どもたちの手に届けられる。 ・行政との協働事業によって保護者の安心感を得られる。 ・コーディネーター、スタッフ研修として、行政主催による講演会などに参加できる。
行政 にとって	<ul style="list-style-type: none"> ・行政だけでは人材確保や財政面で事業展開が困難であり、協働で事業を行うことにより、市民、利用者ニーズに合わせた事業展開を図ることができた。
市民 にとって	<ul style="list-style-type: none"> ・放課後や土曜日の子どもの居場所として、安心してあそべる場所ができた。

(3) 協働して課題だと感じたこと、翌年度も事業実施する場合はその改善のために具体的にどのように取り組むかを記入してください。

団体 にとって	<ul style="list-style-type: none"> ・行政との情報共有やキッズはらっぱの様子は、毎月の参加人数や当日の様子をデータ上で伝えるだけになっている。 ⇒学期に一回程度懇談を設けることで情報共有しながら問題点を見つけ、課題などを行政と一緒に考え、安心して居心地のいい子どもの居場所にしていく。 ・参加人数の多少に目を取られることなく、地域で放課後の居場所を見出しにくい家庭環境の子どもたち（保護者の就労、ひとり親家庭、介護など多忙なため子どもへの意識が向けにくい等）が、少数でも安心して参加できる、地域のおとなとも関われる居場所としての周知。⇒学校や行政との連携、地域の声などを受け取れる体制が必要。
行政 にとって	<ul style="list-style-type: none"> ・団体との情報共有について、委託による事業実施のため、毎月の報告は受け取っているが、コーディネーター等から直接話を聞く機会がほとんどない。 ⇒コーディネーターとの懇談や視察を行い、情報共有を密にし、よりよい事業となるよう取り組む。
市民 にとって	

(4) 今後の具体的な展開 **※団体と事業担当課が話し合い、記載してください。**

■今後も協働事業として実施する（提案事業継続 提案事業以外）

終了する

市が単独で実施する

団体が単独で実施する

その他（

）

上記の回答とした理由を記載してください。

（『協働事業として実施』を選択された場合は、提案事業（以外）とする理由も含めて記載してください。）

<ul style="list-style-type: none"> ・スタッフは子どもと関わる中で居場所の必要性を感じながら、なくしてはいけない場所だと感じている。阪南市のすべての子どもたちのために、これからも協働事業として継続的に取り組んでいきたい。
--

(5) 実施事業を今後、どのように活かし発展させるのか。また、団体の自主財源確保の方法などを含めた具体的な事業展開の内容などを記入してください。

- 利用している子どもたちの声から、居場所をどうすれば居心地のよい場所になるのか一緒に考え、ニーズに合った居場所づくりへとつなげていき、安心、安全な居場所となるようにさらに充実を図る。そのために、阪南市の子どもたちの現状を把握し、子どもたちからの声を行政に届けられる橋渡し役となり、行政、学校、地域と連携し居場所への理解と協力を求め、阪南市の子どもたちの健やかな成長へとつなげていく。
- 多くの人に子どもの居場所「キッズはらっぱ」の存在となぜ居場所が必要なのか理解を求め、子どもに適した安心安全なあそび場、人材確保について引き続きアピールしていく。
- 土曜日午前の小学校開設を継続していくためにも、学校区の地域の方、保護者、学校（先生方）にも理解と協力を求める。

(6) その他

- 放課後の子どもたちは習い事などで忙しく過ごしている。日によってはあそびに来る利用者が少ないときもあるが、「キッズはらっぱ」を子どもたちの数あるあそび場のひとつとして選び、わずかな時間でも参加する子どももいる。「ここが気に入っている、好きやねん」と声を聴くこともあり、子どもの居場所として欠かせない場所とになっていると感じている。
引き続き、安定して開催できるように協働事業として、子どもたちへ居場所の提供を継続していきたい。

記入日 令和7年2月5日

阪南市市民協働・共創事業提案制度を活用して協働で実施した事業について、成果と課題を広く共有するために、提起した視点で事業の評価を行ってください。

団体名	阪南吹奏楽団 (担当者名：寺島 達久)
担当課名	学校教育課 (担当者名：山本 朋美)
事業名	阪南市フレンドシップコンサート
事業開始からの実施期間	平成26年(西暦2014年)4月1日～
提案の区分	<input checked="" type="checkbox"/> 市民自由提案部門 <input type="checkbox"/> 市設定テーマ部門
協働の形態	<input type="checkbox"/> 事業委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 実行委員会・協議会 <input type="checkbox"/> その他 ()
事業の年度	<input type="checkbox"/> 初年度 <input type="checkbox"/> 継続2年目 <input type="checkbox"/> 継続3年目 <input checked="" type="checkbox"/> 継続4年以上(11年目)

1. 事業の概要

(1) 事業の目的(事業を企画した課題、現状、背景についても記入してください)

<p>市内中学校の吹奏楽部への技術支援を通して、教育環境の活性化と青少年の健全育成を行う。 文化センターでの大規模なコンサートだけではなく、地域や学校で現在行われている吹奏楽部のコンサートでの阪南吹奏楽団との合同演奏も視野にいれ、地域に根差した音楽のあるまちづくりをめざす。</p>

(2) 役割分担(団体、事業担当課それぞれの役割を記入してください)

団体	阪南吹奏楽団の団員を各中学校の吹奏楽部に派遣し、練習をともに行うことで、各中学校の部員の演奏技術の向上を図る。
事業担当課	各中学校に阪南吹奏楽団の団員を派遣する日程を調整する。

(3) 事業費

団 体	0円 費目を記入		
市	0円 費目を記入（(例) 補助金 円、委託費 円 等）		
合 計	0円		
初年度の事業費計	48,000円	団体分担 0円	市分担 48,000円
前年度の事業費計	0円	団体分担 0円	市分担 0円

(4) 事業の内容

※名称・日時・場所・参加人数・内容・収益など具体的に記入してください。

※活動の写真や資料があれば、添付してください。

<p>①名称：パート指導・合奏指導・合同練習</p> <p>②開催日時及び実施中学校：</p> <p>4/30 鳥取東中学校吹奏楽部合奏レッスン（寺島氏個人指導）</p> <p>6/29 鳥取中学校合同練習およびパート指導（阪南吹奏楽団員11名参加）</p> <p>7/2 鳥取中学校合奏レッスン（寺島氏個人指導）</p> <p>7/3 貝掛中学校合奏レッスン（寺島氏個人指導）</p> <p>7/17 貝掛中学校合奏レッスン（寺島氏個人指導）</p> <p>7/18 鳥取中学校合奏レッスン（寺島氏個人指導）</p> <p>7/22 鳥取東中学校合奏レッスン（寺島氏個人指導）</p> <p>7/23 鳥取中学校合奏レッスン（寺島氏個人指導）</p> <p>7/6 貝掛中学校合同練習およびパート指導（阪南吹奏楽団員10名参加）</p> <p>7/20 鳥取東中学校合同練習およびパート指導（阪南吹奏楽団員10名参加）</p> <p>③開催場所：市内中学校吹奏楽部の校舎内</p> <p>④対象者： 中学校吹奏楽部員と阪南吹奏楽団員</p> <p>⑤参加人数：各中学校の吹奏楽部員・阪南吹奏楽団の寺島氏及び阪南吹奏楽団10名程度</p> <p>⑥事業の内容：各楽器の基本練習および合奏練習</p> <p>⑦収 益：ボランティア活動につき収益はなし</p> <p>⑧その他：なし</p>

- (5) 事業に参加したのは想定した人たちでしたか。参加した人たちの反応はどのようなものでしたか。
※その人たちや組織に何らかの変容があれば、それも交えて記入してください。

阪南吹奏楽団から参加した団員からは、中学生の吸収力には驚いたと感想がありました。

7月をレッスンの集中期間にしたので、7月末に開催された大阪府吹奏楽南地区大会では、貝掛中学校と鳥取東中学校がそれぞれ金賞、鳥取中学校が銀賞を受賞されました。

特に貝掛中学校の演奏は濁りがなくとても澄み切った音色での演奏でした。

- (6) 協働で事業を進めるにあたり、工夫した点があれば、記入してください。

合同練習の日程調整は学校教育課で調整して頂いたので、スムーズに日程を決める事ができました。

来年度以降も調整をして頂けると助かります。

2. 協働事業の評価

- 下記の評価項目について、それぞれの立場から評価してください。評価基準は5段階としてください。
- 大変よくできた（5点） • よくできた（4点） • できた（3点） • あまりできなかった（2点）
- できなかった（1点） • 評価項目として適当でない（N）

※「N」を選択した場合は、下記記述欄にその理由を記入してください。

(1) 評価

	評価項目		評価点		
			行政	団体	平均
事業実施前	1	実施する事業の課題・背景や目的を両者で確認・共有しましたか。	5	5	5
	2	事業の到達目標を協議して設定しましたか。	5	5	5
	3	事業の実施に際して、計画書や工程表の作成等、計画的な実施のため協議・工夫しましたか。	5	5	5
	4	事業を進めるための役割分担や責任を協議して決めましたか。	5	5	5

事業実施中	5	進捗管理、必要な情報共有をしましたか。	5	5	5
	6	状況の変化に応じて、協議しながら、柔軟な対応ができましたか。	5	5	5
	7	お互いの得意分野や人材・情報を活かし、協力しながら、事業を進めることができましたか。	5	5	5
事業実施後	8	設定した目標は達成できましたか。	5	5	5
	9	協働で事業に取り組んだことで、単独で実施するより、成果を上げることができましたか。	5	5	5
	10	責任の所在や役割分担は適切でしたか。	5	5	5
	11	事業には、当事者、関係者をはじめ、多様な人たちの参加を促すことができましたか。	4	4	4
	12	予算は妥当でしたか。	N	N	N
	13	課題の解決策や今後の方針について、協議を行いましたか。	5	5	5
	14	協働事業に取り組むことによって、組織に何らかの変化をもたらしましたか。	5	5	5

「N（評価項目として適当でない）」を選択した場合は、その理由を記入してください。

番号	理由
12	本来の目的であるコンサートがこの予算だと開催が不可能であるため。

(2) 協働して良かったこと、団体や行政の単独ではなく協働で実施したことによりどのようなメリットがあったかなどを記入してください。

団体 にとって	行政機関と学校現場と認識を共有する事により、団から中学校へ指導が行きやすくなった。 中学生の頃から人材を育成する事により、卒業後も演奏を続けてくれる人材を育てる事ができた。
------------	---

行政 にとって	<p>阪南吹奏楽団の団員の方々の日程調整の取りまとめしていただくことにより、学校の希望日との調整をスムーズに行うことができた。</p> <p>子どもたちにとって、専門家の奏でる音色を間近で聴き、奏法を直接学べるという、非常に貴重な機会となっている。阪南吹奏楽団の方々のご指導により、子どもたちは自信を持って演奏することができ、レッスンの成果も着実に現れている。</p>
市民 にとって	

(3) 協働して課題だと感じたこと、翌年度も事業実施する場合はその改善のために具体的にどのように取り組むかを記入してください。

団体 にとって	<p>毎年11月上旬は阪南吹奏楽団の定期演奏会の準備があるため8月以降は合同練習が行えません。またレッスンや合同練習は7月末のコンクール直前に集中してしまいます。</p> <p>新入生の入部者確定の頃や冬の時期の間が訪問する機会が減るので、計画を立ててそのタイミングに応じたレッスンの内容を精査し、生徒さんのレベルアップにつなげたいと思いました。</p>
行政 にとって	<p>学校への実施日の希望調査を行う時期が遅かったため、レッスンの開始日が遅くなり、7月に集中してしまっただけではないかと考える。そのため、次年度は学校への希望調査を年度当初に行うようにする。</p> <p>また、阪南吹奏楽団の方々にさらに調整をいただくことになるが、新入生の入部者確定の頃や冬の時期なども有効に活用し、計画的、継続的にご指導いただけるよう、学校と連絡調整を行っていきたい。</p>
市民 にとって	

(4) 今後の具体的な展開 ※団体と事業担当課が話し合い、記載してください。

■今後も協働事業として実施する (■提案事業継続 □提案事業以外)

□終了する

□市が単独で実施する

□団体が単独で実施する

□その他 ()

上記の回答とした理由を記載してください。

(『協働事業として実施』を選択された場合は、提案事業(以外)とする理由も含めて記載してください。)

本市民協働事業は、子どもたちにとって、専門家の生の演奏や音色を間近で聴き、専門的な奏法を直接学べるという、非常に貴重な機会であり、教育効果も高い活動であると考えます。

また、阪南吹奏楽団の方々の演奏に向ける姿勢に接することにより、音楽を通じた世代間交流や文化活動に対する知識を育むよい機会にもなる。

(5) 実施事業を今後、どのように活かし発展させるのか。また、団体の自主財源確保の方法などを含めた具体的な事業展開の内容などを記入してください。

中学生の頃から吹奏楽や楽器に触れる事により、生涯を通じて演奏を続けようとする人材を育成したいと考えています。

阪南吹奏楽団の団員が中学生に指導する事で、スキルアップしてくれている事を実感しており、改善点はありますが、本事業については継続をお願いしたいと考えております。

ただ本来の目的は市内中学校との合同演奏会でした。

予算額0円では、ホールでのコンサートの開催は不可能です。

行政機関やホールなどの協賛事業でないと演奏会が開催は厳しいと思います。

(6) その他

阪南市市民協働・共創事業評価シート

記入日 R7年 2月27日

阪南市市民協働・共創事業提案制度を活用して協働で実施した事業について、成果と課題を広く共有するために、提起した視点で事業の評価を行ってください。

団体名	男里川水系環境保全活動実行委員会（担当者名：成子和弘）
担当課名	河川農水課（担当者名：生田直樹）
事業名	男里川水系環境保全活動
事業開始からの実施期間	令和6年（西暦 2024年）4月1日～令和7年（2025年）3月31日
提案の区分	<input checked="" type="checkbox"/> 市民自由提案部門 <input type="checkbox"/> 市設定テーマ部門
協働の形態	<input type="checkbox"/> 事業委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input checked="" type="checkbox"/> 実行委員会・協議会 <input type="checkbox"/> その他（ ）
事業の年度	<input type="checkbox"/> 初年度 <input type="checkbox"/> 継続2年目 <input type="checkbox"/> 継続3年目 <input checked="" type="checkbox"/> 継続4年以上（12年目）

1. 事業の概要

(1) 事業の目的（事業を企画した課題、現状、背景についても記入してください）

男里川は、昔から農業用水、工業用水、生活用水として貴重な役割を果たしてきた。また多くの水生生物が生息している。この男里川水系を阪南市の宝として地域の方々がその素晴らしさを実感し、また環境保全活動の重要性を理解し、その環境を孫子の代まで受け継いでもらうことを目的としている

(2) 役割分担（団体、事業担当課それぞれの役割を記入してください）

団体	男里川水系全域の年1回の一斉清掃 男里川環境保全啓発ポスター募集、そのカレンダー作成と配布 水辺の学校（小学4年生）の男里川での体験学習 親子水生生物観察会（夏休みに実施）
事業担当課	清掃活動への協力要請、ゴミの処分 その他活動に関わる応援

(3) 事業費

団体	30,000 円 費目を記入		
市	0 円 費目を記入（（例）補助金 円、委託費 円 等）		
合計	30,000 円		
初年度の事業費計	円	団体分担 円	市分担 円
前年度の事業費計	30,000 円	団体分担 30,000 円	市分担 0 円

(4) 事業の内容

※名称・日時・場所・参加人数・内容・収益など具体的に記入してください。

※活動の写真や資料があれば、添付してください。

- | | |
|---------|----------------------------------|
| ① 名称 | : 男里川水系一斉清掃 |
| ② 開催日時 | : 2月15日(土) 10時~12時 |
| ③ 開催場所 | : 男里川水系全域 |
| ④ 対象者 | : 阪南市、泉南市の市民、行政の皆さん |
| ⑤ 参加人数 | : 約80名 |
| ⑥ 事業の内容 | : 男里川の清掃活動 |
| ⑦ 収益 | : なし |
| | |
| ① 名称 | : 男里川水系の環境啓発ポスター募集・カレンダー作成 |
| ② 開催日時 | : 夏休み |
| ③ 開催場所 | : 阪南市内 |
| ④ 対象者 | : 阪南市内の小・中・高校生 |
| ⑤ 参加人数 | : 約200名 |
| ⑥ 事業内容 | : 環境啓発を目的としたポスター製作、そのカレンダー印刷配布 |
| ⑦ 収益 | : なし |
| | |
| ① 名称 | : 男里川水系、水辺の学校 |
| ② 開催日時 | : 9月22日(金) 10時~12時 |
| ③ 開催場所 | : うど橋周辺 |
| ④ 対象者 | : 小学4年生(尾崎小学校) |
| ⑤ 参加人数 | : 38名 |
| ⑥ 事業の内容 | : 男里川の水生生物の捕獲体験、観察。川の防災、汚染防止学習 |
| ⑦ 収益 | : なし |
| | |
| ① 名称 | : 夏休み親子水生生物観察会 |
| ② 開催日時 | : 7月15日(土) 10時~12時 |
| ③ 開催場所 | : うど橋付近 |
| ④ 対象者 | : 阪南市市民 |
| ⑤ 参加人数 | : 47名 |
| ⑥ 事業の内容 | : 男里川の水生生物捕獲、捕獲した生物観察会、講師先生の生物解説 |
| ⑦ 収益 | : なし |

(5) 事業に参加したのは想定した人たちでしたか。参加した人たちの反応はどのようなものでしたか。
 ※その人たちや組織に何らかの変容があれば、それも交えて記入してください。

- ①男里川水系一斉清掃活動：日頃から環境美化に熱心に取り組んでいる方々、また自治会活動として参加。ひとりではなかなか掃除できないが、一斉にみんなで一緒にやることで成果が上がっている。市長や議員さん役所の方々にも応援いただきとても心強い。
- ②男里川環境啓発ポスター：強制ではないのに、各学校より毎年多くのポスターが寄せられる。環境美化に関心のある子ども達が多いのでとてもうれしい。そのポスターを掲載したカレンダーは学校の先生やご父兄の方々にも大変好評いただいている。
- ③水辺の学校：日頃、男里川で遊ぶ子は皆無に等しい。この活動を通じ、子ども達は身近に素晴らしい自然や生物がいることを実感している。学校の校長先生また担任の先生方にも喜んでいただいている。
- ④夏休み親子水生観察会：地元の人でも、男里川で遊んだり魚釣りをする人はいない。この活動を通じ、川に住む生物についていろいろ知っていただき、男里川にとっても愛着を感じていただいている。

(6) 協働で事業を進めるにあたり、工夫した点があれば、記入してください。

2. 協働事業の評価

- 下記の評価項目について、それぞれの立場から評価してください。評価基準は5段階としてください。
 - ・大変よくできた（5点）
 - ・よくできた（4点）
 - ・できた（3点）
 - ・あまりできなかった（2点）
 - ・できなかった（1点）
 - ・評価項目として適当でない（N）
- ※「N」を選択した場合は、下記記述欄にその理由を記入してください。

(1) 評価

	評価項目		評価点		
			行政	団体	平均
事業実施前	1	実施する事業の課題・背景や目的を両者で確認・共有しましたか。	3	4	3.5
	2	事業の到達目標を協議して設定しましたか。	3	3	3
	3	事業の実施に際して、計画書や工程表の作成等、計画的な実施のため協議・工夫しましたか。	3	4	3.5
	4	事業を進めるための役割分担や責任を協議して決めましたか。	4	4	4

事業実施中	5	進捗管理、必要な情報共有をしましたか。	3	4	3.5
	6	状況の変化に応じて、協議しながら、柔軟な対応ができましたか。	3	4	3.5
	7	お互いの得意分野や人材・情報を活かし、協力しながら、事業を進めることができましたか。	4	4	4
事業実施後	8	設定した目標は達成できましたか。	4	4	4
	9	協働で事業に取り組んだことで、単独で実施するより、成果を上げることができましたか。	4	5	4.5
	10	責任の所在や役割分担は適切でしたか。	3	5	4
	11	事業には、当事者、関係者をはじめ、多様な人たちの参加を促すことができましたか。	4	4	4
	12	予算は妥当でしたか。	3	4	3
	13	課題の解決策や今後の方針について、協議を行いましたか。	3	3	3
	14	協働事業に取り組むことによって、組織に何らかの変化をもたらしましたか。	3	4	3.5

「N（評価項目として適当でない）」を選択した場合は、その理由を記入してください。

番号	理由

(2) 協働して良かったこと、団体や行政の単独ではなく協働で実施したことによりどのようなメリットがあったかなどを記入してください。

団体にとって	<ul style="list-style-type: none"> ・男里川の掃除：ゴミの収集をその日のうちにやってもらえる。 ・啓発ポスター：教育委員会から市内すべての学校に要請してもらえる。 ・水辺の学校：学校行事として取り組んでもらえる。防災教育をってもらえる
行政にとって	活動を通じて環境保全の意識向上や、市内の清掃に参加するきっかけとなった。
市民にとって	活動を通じて環境保全の意識向上や、市内の清掃に参加するきっかけとなった。

(3) 協働して課題だと感じたこと、翌年度も事業実施する場合はその改善のために具体的にどのように取り組むかを記入してください。

団体 にとって	10年も続いている事業なので、どれもうまくいっている。特にゴミの収集処理は民間だけでは難しいが協業なのでスムーズに行なえる。
行政 にとって	本市の財政状況の低迷と人員の減少により、活動への支援が十分ではない。
市民 にとって	本市の財政状況の低迷と人員の減少により、活動への支援が十分ではない。

(4) 今後の具体的な展開 ※団体と事業担当課が話し合い、記載してください。

今後も協働事業として実施する (提案事業継続 提案事業以外)

終了する

市が単独で実施する

団体が単独で実施する

その他 ()

上記の回答とした理由を記載してください。

(『協働事業として実施』を選択された場合は、提案事業(以外)とする理由も含めて記載してください。)

<ul style="list-style-type: none"> • 男里川清掃活動：参加者を増やすためにどうすればいいか、役員で考える。 広報紙や回覧板でのPRだけでなく、個人的なつながりや、他の市民活動とのつながりなどを通じ参加者を増やす。 • 啓発ポスター：より大勢の子供達にポスターを描いてもらえるようにするかよく考える。 Instagramに投稿したが、それをみんなに見てもらう方法を考える。 ポスターを無料で配っているが、財源が少ないので別の方法を考える。 • 水辺の学校：尾崎小学校の4年生を対象とし、小学生に環境の大切さを伝える。 • 親子観察会：親子の参加を増やし、及び熱中症対策のため、夏休みの始めに7月に実施

(5) 実施事業を今後、どのように活かし発展させるのか。また、団体の自主財源確保の方法などを含めた具体的な事業展開の内容などを記入してください。

--

(6) その他

--

阪南市市民協働・共創事業評価シート

記入日 令和7年2月17日

阪南市市民協働・共創事業提案制度を活用して協働で実施した事業について、成果と課題を広く共有するために、提起した視点で事業の評価を行ってください。

団体名	子どもNPOはらっぱ (担当者名：川端 智代)
担当課名	学校教育課 (担当者名：花元 英夫)
事業名	子どもの声を聴き共有するラウンドテーブル
事業開始からの実施期間	平成27年(西暦2015年)4月1日～令和 年(年) 月 日
提案の区分	<input checked="" type="checkbox"/> 市民自由提案部門 <input type="checkbox"/> 市設定テーマ部門
協働の形態	<input type="checkbox"/> 事業委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 実行委員会・協議会 <input type="checkbox"/> その他()
事業の年度	<input type="checkbox"/> 初年度 <input type="checkbox"/> 継続2年目 <input type="checkbox"/> 継続3年目 <input checked="" type="checkbox"/> 継続4年以上(9年目)

1. 事業の概要

(1) 事業の目的(事業を企画した課題、現状、背景についても記入してください)

子どもたちが安心、安全に暮らせる、笑顔あふれるまちづくりを実現するために子どもたちの心に寄り添い、声を聴き、提案団体と行政の情報共有の関係づくりをすることで、子どもの現状や子どもの周りで起きている問題・社会課題の解決を図っていく。また、地域に子どもの声を聴くおとなが増えるよう、学ぶ機会を協働で実施できる可能性を考えていく。

(2) 役割分担(団体、事業担当課それぞれの役割を記入してください)

団体	様々な事業(未就学児の子ども居場所、小中学生の子ども居場所など)に関わる子どもたちや保護者の声や様子から得る子どもの現状や子どものまわりで起きている問題等の情報を担当課と共有して解決改善を図り、協力して子どもの育ちを支える。
事業担当課	学校教育課、生涯学習推進室、こども支援課、こども政策課の担当課から市内の子どもへのかかわりを紹介する。団体と連携できる事業などについて検討し、市内の子どもたちの健全な育成につなげる。

(3) 事業費

団体	〇 円 費目を記入		
市	〇 円 費目を記入((例)補助金 円、委託費 円 等)		
合計	〇 円		
初年度の事業費計	円	団体分担 円	市分担 円
前年度の事業費計	〇 円	団体分担 〇 円	市分担 〇 円

(4) 事業の内容

※名称・日時・場所・参加人数・内容・収益など具体的に記入してください。

※活動の写真や資料があれば、添付してください。

①名称	子どもの声を聴き共有するラウンドテーブル
②開催日時	令和6年 9月 4日 16:00~17:00 ※2学期実施できず。
③開催場所	阪南市教育支援センター会議室(9月)
④対象者	子どもNPOはらっば、学校教育課、生涯学習推進室、こども支援課、こども政策課。
⑤参加人数	13人
⑥事業の内容	NPOと各課(室)の取組などの共有
⑦収益	なし
⑧その他	

(5) 事業に参加したのは想定した人たちでしたか。参加した人たちの反応はどのようなものでしたか。

※その人たちや組織に何らかの変容があれば、それも交えて記入してください。

想定した方の参加があり。市内の子どもたちの現状について話すことで、関係を再度深めていくきっかけとなった。

(6) 協働で事業を進めるにあたり、工夫した点があれば、記入してください。

それぞれの取組について共有し、協働できることについて検討を重ねている。

団体の様々な事業の中で聞く家庭や地域での子どもたちの様子や問題を担当課に届け、担当課から得た情報を伝えるようにした。団体として、子どもに関わる講座など地域に必要な課題について、市と協働できることを目指し、情報を伝えた。

2. 協働事業の評価

- 下記の評価項目について、それぞれの立場から評価してください。評価基準は5段階としてください。
 - 大変よくできた（5点）
 - よくできた（4点）
 - できた（3点）
 - あまりできなかった（2点）
 - できなかった（1点）
 - 評価項目として適当でない（N）
- ※「N」を選択した場合は、下記記述欄にその理由を記入してください。

(1) 評価

	評価項目		評価点		
			行政	団体	平均
事業実施前	1	実施する事業の課題・背景や目的を両者で確認・共有しましたか。	4	4	4
	2	事業の到達目標を協議して設定しましたか。	2	3	2.5
	3	事業の実施に際して、計画書や工程表の作成等、計画的な実施のため協議・工夫しましたか。	2	2	2
	4	事業を進めるための役割分担や責任を協議して決めましたか。	2	2	2
事業実施中	5	進捗管理、必要な情報共有をしましたか。	4	4	4
	6	状況の変化に応じて、協議しながら、柔軟な対応ができましたか。	4	4	4
	7	お互いの得意分野や人材・情報を活かし、協力しながら、事業を進めることができましたか。	4	4	4
事業実施後	8	設定した目標は達成できましたか。	4	4	4
	9	協働で事業に取り組んだことで、単独で実施するより、成果を上げることができましたか。	3	4	3.5
	10	責任の所在や役割分担は適切でしたか。	3	3	3
	11	事業には、当事者、関係者をはじめ、多様な人たちの参加を促すことができましたか。	2	2	2
	12	予算は妥当でしたか。	3	2	2.5
	13	課題の解決策や今後の方針について、協議を行いましたか。	3	3	3
	14	協働事業に取り組むことによって、組織に何らかの変化をもたらしましたか。	3	4	3.5

「N（評価項目として適当でない）」を選択した場合は、その理由を記入してください。

番号	理由

(2) 協働して良かったこと、団体や行政の単独ではなく協働で実施したことによりどのようなメリットがあったかなどを記入してください。

団体 にとって	団体が行う様々な事業を通じて見えてくる子どもの現状や課題を担当課と情報共有し、情報交換ができる貴重な機会になっている。地域に必要な課題についての講座の情報を伝えられた。
行政 にとって	お互いの情報交換ができた。今後、様々な課題解決を検討できる関係を深めることができた。
市民 にとって	

(3) 協働して課題だと感じたこと、翌年度も事業実施する場合はその改善のために具体的にどのように取り組むかを記入してください。

団体 にとって	情報交換の場を持つ意義を感じている。団体が阪南市立小中学校や近隣の施設にチラシを配布してもらっている「子どもの声を聴くおとな養成講座」についても情報交換もできた。さらに子どもの現状と課題を解決するため、このような講座の開催などを協働事業として考えていきたい。
行政 にとって	お互いの取組について情報を交換することができたが、課題解決に向けた具体的な今後の共通の目標の設定などにたどり着くことができていない。
市民 にとって	

(4) 今後の具体的な展開 ※団体と事業担当課が話し合い、記載してください。

■今後も協働事業として実施する (提案事業継続 提案事業以外)

終了する

市が単独で実施する

団体が単独で実施する

その他 ()

上記の回答とした理由を記載してください。

(『協働事業として実施』を選択された場合は、提案事業(以外)とする理由も含めて記載してください。)

阪南市の子どもの現状を子どもに関係する課と情報共有する意義ある機会となっている。今後も有効な情報交換の場となるよう実施方法を工夫し、課題解決に向けて市民協働で連携できる事業などについても検討していきたい。

(5) 実施事業を今後、どのように活かし発展させるのか。また、団体の自主財源確保の方法などを含めた具体的な事業展開の内容などを記入してください。

財源を利用せずに事業の継続について検討していく。

(6) その他

阪南市市民協働・共創事業評価シート

記入日 2025年 2月 13日

阪南市市民協働・共創事業提案制度を活用して協働で実施した事業について、成果と課題を広く共有するために、提起した視点で事業の評価を行ってください。

団体名	ボランティア 桜の園の会 (担当者名： 高橋・澤井)
担当課名	阪南市教育委員会事務局生涯学習部生涯学習推進室 (担当者名： 辻・甘庶)
事業名	野外活動広場（桜の園）管理運営事業
事業開始からの実施期間	令和5年（西暦2023年）4月1日～
提案の区分	<input type="checkbox"/> 市民自由提案部門 <input checked="" type="checkbox"/> 市設定テーマ部門
協働の形態	<input checked="" type="checkbox"/> 事業委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 実行委員会・協議会 <input type="checkbox"/> その他（ ）
事業の年度	<input type="checkbox"/> 初年度 <input checked="" type="checkbox"/> 継続2年目 <input type="checkbox"/> 継続3年目 <input type="checkbox"/> 継続4年以上（ 年目）

1. 事業の概要

(1) 事業の目的（事業を企画した課題、現状、背景についても記入してください）

鳥取池に隣接した公共用地（一部借地）を活用し、公園施設として、様々な目的で来られた市民が当該施設を堪能し安全に帰っていただけるよう、毎日の見回りや道路・施設の点検・早期の補修を行うとともに、山・池・川・樹木・鳥・植物等豊かな自然を活用し、「また来たい」という思いを抱くような雰囲気を出していく。

また、阪南市内では、子どもたちだけでなく大人たちも含めて、安全に焚き火をできる場所が当該施設しかなく、生活の基本となる火の使い方を学びながら自然を楽しむことができる場所として、未来を担う子どもたちのためにも存続させるべき施設と考える。

(2) 役割分担（団体、事業担当課それぞれの役割を記入してください）

団体	来場者の安全で快適な施設利用のため、日常の施設の運営・管理（トイレ・炊事場・かまどの清掃、草刈、枝切り、給水施設への水の搬送、林道の補修等）
事業担当課	テントサイト、かまど、キャンプファイヤー場利用者の予約受付窓口

(3) 事業費

団体	0 円		
市	166,094 円 委託費		
合計	166,094 円		
初年度の事業費計	166,094円	団体分担 0円	市分担 166,094円
前年度の事業費計	166,094円	団体分担 0円	市分担 166,094円

(4) 事業の内容

※名称・日時・場所・参加人数・内容・収益など具体的に記入してください。

※活動の写真や資料があれば、添付してください。

- | | |
|--------|--|
| ①名称 | 桜の園の会 |
| ②開催日時 | 令和6年4月1日～令和7年3月31日 |
| ③開催場所 | 野外活動広場（桜の園） |
| ④対象者 | 桜の園利用者 |
| ⑤参加人数 | 桜の園の会会員 19名 |
| ⑥事業の内容 | 桜の園の日常の施設の運営・管理
(トイレ・炊事場・かまどの清掃、草刈、枝切り、給水施設への水の搬送、林道の補修等) |
| ⑦収益 | 0円 |
| ⑧その他 | * 毎日の見回り トイレの清掃及びかまどの残飯・灰等の確認、落とし物の確認等
* 市役所から水道水の運搬 毎週一回(毎回400～700L)
* 一斉草刈 年4回及び随時
* 枝切り(随時)
* 消毒 年3回(4月・6月・9月)
* 道路の掃除と整備(来田採石場より上の道路) |



こどもフェスタ、竹切講習にスタッフで参加



植物観察 キンラン(絶滅危惧種)



キンラン(3年ぶりに咲く)





ササユリ(準絶滅危惧種)



ヤマザクラ植樹 令和6年3月



スッポントケ



ヤマカガシ



焚き火で焼き芋



海水から塩づくり



アナグマ



展示



渡り鳥、オオルリの
巣がトイレの柱に。
毎年来所。



修理済 カマド



キジ? ヤマドリ?



野鳥教室



ぼっち キャンプ

(5) 事業に参加したのは想定した人たちでしたか。参加した人たちの反応はどのようなものでしたか。
※その人たちや組織に何らかの変容があれば、それも交えて記入してください。

桜の園の利用者数は横ばいですが、ハイキングの立ち寄り場所、駐車・トイレ休憩のポイントとして、桜の園は紀泉山脈を利用する人々の安全を確保する重要な拠点となっています。大きなトラブルの報告はなく、全体として望ましい雰囲気公園が管理されています。

利用者の層は、ソロキャンプ、家族連れ、同僚、ボーイスカウト、友人など、例年と大きな差異はないように思われます。今年は、例年行っている大福山ハイキングに加え、新たに一人参加の「ぼっちキャンプ」を広報で募集し、実施しました。参加人数は10名弱と多くはありませんが、このような呼びかけをきっかけに初めて宿泊キャンプに参加し、ライフスタイルが広がったという方もいらっしゃいました。

また、「トイレがきれいだったので、思いのほか気持ちよく過ごせました」と時々言われます。衛生的で臭いがしないことは、古い設備を大切に使用していただける要素です。実際にはクモの巣や蚊・ハエなどの死骸があり、言葉ほどきれいではありませんが、人の手が入っていることがわかることで安心感を抱いていただけているようです。

利用者の中には、癒しや体調の維持を目的に定期的に利用される方もいらっしゃいます。自然の中でのキャンプ生活が心身に程良い影響を及ぼし、自然からの恵みである森林セラピーを享受されているのかと思われます。

また、開発が著しいキャンプギアやオンリーワンのキャンプ用具を楽しむ利用者、鳥の鳴き声や姿を観察する人、フユイチゴを採取し自然のヤマユリなどを観察して楽しむ人たちもいます。今年は3年ぶりにキンラン（絶滅危惧種）が咲きました。何組かがキンラン観察を続ける中で、今回も根こそぎ持ち帰るハイカーがいました。土壌菌との共生で移植はほぼ困難であることを知っていただきたいです。自然の恵みを共有し、それぞれが共感できる雰囲気を高めていきたいと思えます。ササユリやキンランが見られ、溪流にはドンコやギギが泳ぐ自然豊かな里が、啓蒙活動の中で再認識されます。

(参考) 令和6年4月1日～令和7年1月31日までの利用件数
約211テント 利用人数 約917名(来園者の実数・総数はさらに増えます。)

(6) 協働で事業を進めるにあたり、工夫した点があれば、記入してください。

桜の園への道については、気が付き次第補修を行っていますが、手作業での対応のため効率が悪く、その都度市に情報を提供し共有することで、かろうじて維持できている状況です。しかし、よく見ると、インスタントアスファルトなどで穴を補修すれば、人が歩きやすく、車も走りやすい道路になり、事故を防ぐことができる箇所がいくつかあります。材料の提供も含め、市と情報の共有度を高めていきたいと考えています。

また、令和6年の3月には市と共同で、ヤマザクラを5本植樹しました。現在、桜の園周辺にあるヨシノザクラの多くは老木化して弱ってきています。今後も新たな苗を毎年植え続け、桜の園周辺が豊かな森に成長することを期待しています。

さらに、今年度はカマドの補修についても、ボランティア側からの情報提供と市側からのブロック提供により修理を行いました。使用可能な状態にはなりましたが、他のカマドのひび割れやカマドの屋根・天井、腐食しかけの柱の早期修理、階段の補修などが必要です。安全な管理を進めるためには、迅速な対応と生の情報のやり取りが必要だと考えています。

2. 協働事業の評価

- 下記の評価項目について、それぞれの立場から評価してください。評価基準は5段階としてください。
 - 大変よくできた(5点) • よくできた(4点) • できた(3点) • あまりできなかった(2点)
 - できなかった(1点) • 評価項目として適当でない(N)
- ※「N」を選択した場合は、下記記述欄にその理由を記入してください。

(1) 評価

	評価項目		評価点		
			行政	団体	平均
事業実施前	1	実施する事業の課題・背景や目的を両者で確認・共有しましたか。	3	3	3
	2	事業の到達目標を協議して設定しましたか。	3	2	2.5
	3	事業の実施に際して、計画書や工程表の作成等、計画的な実施のため協議・工夫しましたか。	3	3	3
	4	事業を進めるための役割分担や責任を協議して決めましたか。	4	3	3.5
事業実施中	5	進捗管理、必要な情報共有をしましたか。	3	2	2.5
	6	状況の変化に応じて、協議しながら、柔軟な対応ができましたか。	4	4	4
	7	お互いの得意分野や人材・情報を活かし、協力しながら、事業を進めることができましたか。	3	3	3
事業実施後	8	設定した目標は達成できましたか。	4	5	4.5
	9	協働で事業に取り組んだことで、単独で実施するより、成果を上げることができましたか。	5	3	4
	10	責任の所在や役割分担は適切でしたか。	4	3	3.5
	11	事業には、当事者、関係者をはじめ、多様な人たちの参加を促すことができましたか。	3	3	3
	12	予算は妥当でしたか。	2	1	1.5
	13	課題の解決策や今後の方針について、協議を行いましたか。	3	3	3
	14	協働事業に取り組むことによって、組織に何らかの変化をもたらしましたか。	3	3	3

「N（評価項目として適当でない）」を選択した場合は、その理由を記入してください。

番号	理由

(2) 協働して良かったこと、団体や行政の単独ではなく協働で実施したことによりどのようなメリットがあったかなどを記入してください。

団体にとって	2024年3月、共同でヤマザクラ植樹。 事故に直結する大きくえぐれた道路の補修。
--------	---

行政 にとって	日常的に、給水施設への水の搬入や、施設の運営・維持管理が十分行われていること。
市民 にとって	山間部の施設でありながら、日常的にトイレの維持管理や巡回など、施設の管理が行き届いていること。

(3) 協働して課題だと感じたこと、翌年度も事業実施する場合はその改善のために具体的にどのように取り組むかを記入してください。

団体 にとって	道路・カマド・トイレ補修箇所の確認とその対策。
行政 にとって	山間部であり、林道の維持管理や緊急連絡先の手段が限られていること。 水の運搬や施設の維持管理、施設の老朽化などに対する運営費用が十分でないこと。
市民 にとって	緊急連絡が十分できないこと。

(4) 今後の具体的な展開 ※団体と事業担当課が話し合い、記載してください。

■今後も協働事業として実施する (■提案事業継続 □提案事業以外)

□終了する

□市が単独で実施する

□団体が単独で実施する

□その他 ()

上記の回答とした理由を記載してください。

(『協働事業として実施』を選択された場合は、提案事業(以外)とする理由も含めて記載してください。)

<p>阪南市の魅力である里山里海の活用のために、今後とも維持が必要。</p>
--

(5) 実施事業を今後、どのように活かし発展させるのか。また、団体の自主財源確保の方法などを含めた具体的な事業展開の内容などを記入してください。

<p>桜の園の良さを維持したいという思いで集まっている団体。新たな事業は考えていない。活動に市がしっかりと補助するのが一番の方法。</p>

(6) その他

3か月に一度でも短時間情報共有の時間を確保して下さい。
里山の魅力を語るのに桜の園周辺の生き物や植物の図鑑づくりを進めて頂きたい。

阪南市市民協働・共創事業評価シート

記入日 2025年 2月27日

阪南市市民協働・共創事業提案制度を活用して協働で実施した事業について、成果と課題を広く共有するために、提起した視点で事業の評価を行ってください。

団体名	特定非営利活動法人 大阪湾沿岸域環境創造研究センター (担当者名：岩井 克巳)
担当課名	生涯学習部 中央公民館 (担当者名：佐野 耕治)
事業名	はんなん海の学校事業
事業開始からの 実施期間	令和5年(西暦2023年)10月1日～令和8年(2026年)3月31日
提案の区分	<input type="checkbox"/> 市民自由提案部門 <input checked="" type="checkbox"/> 市設定テーマ部門
協働の形態	<input checked="" type="checkbox"/> 事業委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 実行委員会・協議会 <input type="checkbox"/> その他()
事業の年度	<input type="checkbox"/> 初年度 <input checked="" type="checkbox"/> 継続2年目 <input type="checkbox"/> 継続3年目 <input type="checkbox"/> 継続4年以上(年目)

1. 事業の概要

(1) 事業の目的(事業を企画した課題、現状、背景についても記入してください)

海洋教育をSDGsの理念を踏まえた持続可能な教育の取組とするため、学校教育のみならず、社会教育として「海洋教育」を市の広範な市民に根付かせる必要がある。そのため、市と連携して「はんなん海の学校」を創設し、学びの機会を学齢期の学校教育の場だけでなく、社会教育として若年層の市民を中心にさらに広範な人の手で取り組んでいくことで、多くの市民の郷土愛を育むとともに、自ら主体的に地域課題に関わる人材の育成を図ることを目的とする。

(2) 役割分担(団体、事業担当課それぞれの役割を記入してください)

団体	①事業の計画立案 ②企画運営部会への提案 ③事業の実施
事業担当課	①事業者及び、生徒との連絡調整 ②事業実施の支援・助言 ③事業実施にあたり、以下の方法等で参加者を広く募った。 ・「はんなん海の学校」に参加する市民募集の呼びかけ(広報等) ・学校教育活動を含めた様々な機関との連携推進 (中学校・高校・大学との連携) ④事業内容及び成果についての市民への発信 (広報誌、講演会、テレビ、プレ万博)

(3) 事業費

団体	円 費目を記入		
市	委託費 6,000,000 円		
合計	6,000,000 円		
初年度の事業費計	1,000,000 円	団体分担 円	市分担 1,000,000 円
前年度の事業費計	2,000,000 円	団体分担 円	市分担 2,000,000 円

(4) 事業の内容

※名称・日時・場所・参加人数・内容・収益など具体的に記入してください。

※活動の写真や資料があれば、添付してください。

添付資料①	2024年度はんなん海の学校活動実績	参照
添付資料②	はんなん海の学校 活動写真1・2	参照

(5) 事業に参加したのは想定した人たちでしたか。参加した人たちの反応はどのようなものでしたか。

※その人たちや組織に何らかの変容があれば、それも交えて記入してください。

<ul style="list-style-type: none"> ・毎回、活動後に振り返りシートを記入してもらい気づいたこと、考えたことを記入している。 ・1月の学習会では、1年間のまとめとして、「学んだこと」「気づいたこと」「どうしていきたいか」などを整理した。3・4月の学習会では、学んだことを広めるためにどうしていくか、自分たちが海に何ができるかなど、子どもたちから大人への提言としてまとめの作業を予定している。(大阪関西万博で報告) ・併せて、初回スタート版アンケートと最終版アンケートの比較により生徒の変容を分析し、5月10日に大阪関西万博で成果発表会を予定している。 ※活動内容満足度 80% (5点 5段階評価) 20% (4点、5段階評価) ・添付資料③ アンケート分析全体結果 まとめ ・添付資料④ アンケートスタート版 ・添付資料⑤ 振り返りシート

(6) 協働で事業を進めるにあたり、工夫した点があれば、記入してください。

<p>協働による効果を最大限に得られるようにするため、それぞれが持っている専門性や柔軟性を生かしていくため、提案団体と十分な協議を行い、柔軟で最適な役割分担を心掛けた。</p>
--

2. 協働事業の評価

- ・下記の評価項目について、それぞれの立場から評価してください。評価基準は5段階としてください。
 - ・大変よくできた (5点) ・よくできた (4点) ・できた (3点) ・あまりできなかった (2点)
 - ・できなかった (1点) ・評価項目として適当でない (N)
- ※「N」を選択した場合は、下記記述欄にその理由を記入してください。

(1) 評価

	評価項目	評価点		
		行政	団体	平均

事業実施前	1	実施する事業の課題・背景や目的を両者で確認・共有しましたか。	5	5	5
	2	事業の到達目標を協議して設定しましたか。	5	5	5
	3	事業の実施に際して、計画書や工程表の作成等、計画的な実施のため協議・工夫しましたか。	5	5	5
	4	事業を進めるための役割分担や責任を協議して決めましたか。	5	5	5
事業実施中	5	進捗管理、必要な情報共有をしましたか。	5	5	5
	6	状況の変化に応じて、協議しながら、柔軟な対応ができましたか。	5	5	5
	7	お互いの得意分野や人材・情報を活かし、協力しながら、事業を進めることができましたか。	5	5	5
事業実施後	8	設定した目標は達成できましたか。	4	5	4.5
	9	協働で事業に取り組んだことで、単独で実施するより、成果を上げることができましたか。	5	5	5
	10	責任の所在や役割分担は適切でしたか。	5	5	5
	11	事業には、当事者、関係者をはじめ、多様な人たちの参加を促すことができましたか。	4	5	4.5
	12	予算は妥当でしたか。	4	2	3
	13	課題の解決策や今後の方針について、協議を行いましたか。	4	4	4
	14	協働事業に取り組むことによって、組織に何らかの変化をもたらしましたか。	5	5	5

「N（評価項目として適当でない）」を選択した場合は、その理由を記入してください。

番号	理由

(2) 協働して良かったこと、団体や行政の単独ではなく協働で実施したことによりどのようなメリットがあったかなどを記入してください。

団体にとって	「はんなん海の学校」事業を市と協働で実施したことにより、社会教育における海洋教育においてもより発展的な事業展開が可能となった。
行政にとって	小学校卒業後に海洋教育について学ぶ機会として「はんなん海の学校」を創設したことで学校教育では得られなかったより専門的な内容を学ぶことができた。また、魚の捌き体験や海洋調査など普通の学校では体験できないことも数多く体験することができた。

市民 にとって	様々なマスコミに「はんなん海の学校」のことが取り上げられ、市民に認知される機会が増えた。「環境保護」「SDGsの実践」「郷土愛」の気運の醸成につながった。
------------	---

(3) 協働して課題だと感じたこと、翌年度も事業実施する場合はその改善のために具体的にどのように取り組むかを記入してください。

団体 にとって	<ul style="list-style-type: none"> • 全体的な方向性は踏襲して良いと思う。 • 回数が少し多いため、生徒もスタッフも負担になっているのではないか？ • 土曜日の出席率が低い。 ⇒来年度は、日曜日を中心に年間 10 回程度の活動を予定
行政 にとって	<ul style="list-style-type: none"> • 部活、受験勉強、アルバイト 等により中学校、高校生の入学生が少ないという課題があった。活動日の工夫や中学校の生徒会やクラブとの連携も積極的に進めていきたい。
市民 にとって	<ul style="list-style-type: none"> • 視察や講義の後は、必ず「阪南」に戻り、ふり返しを行う。その成果をできるだけ多くの市民の前で発表することで、市民が「阪南の海」に興味を持ち主体的に関わってもらいたい。

(4) 今後の具体的な展開 ※団体と事業担当課が話し合い、記載してください。

■今後も協働事業として実施する (提案事業継続 提案事業以外)

終了する

市が単独で実施する

団体が単独で実施する

その他 ()

上記の回答とした理由を記載してください。

(『協働事業として実施』を選択された場合は、提案事業(以外)とする理由も含めて記載してください。)

「はんなん海の学校」の取組は、打ち上げ花火的なものではなく、3年間の取組が修了した後も、そこで育った人材がまた核となって活躍するという持続可能な取組となることを想定して運営してきました。運営体制の整備をはじめ、「自分なりの表現や行動に移していけるような人材」「自分たちでつくる自分たちの学校」を大切にして取り組んできました。

「学校」「教育」という取組は継続性が必要なものというまでもありません。

将来的には、「はんなん海の学校」で育った生徒が核となって自ら主体的に地域課題に関わる人材の育成が図られていくものと考えています。

(5) 実施事業を今後、どのように活かし発展させるのか。また、団体の自主財源確保の方法などを含めた具体的な事業展開の内容などを記入してください。

・本事業は、小学校で海洋教育を学んだ中・高校生が輝き続ける場として、また、若年層（社会人・大学生）の発想や企画・運営力を生かす場としての一面があります。まずは、これらの若年市民層が学び、企画し、活動する学校としていきたいと考えています。そして、本事業が打ち上げ花火的なものではなく、3年間の取組が終了した後も、そこで育った人材がまた核となって活躍するという持続可能な取り組みとなることを想定した事業でもあります。

学校の継続には、当然予算が必要となってきます。自主財源の確保の方法としては、以下を考えています。

- ①市・企業・団体の助成
- ②国の補助事業（デジタル田園都市国家構想交付金 地方創成推進タイプ）

(6) その他

2024年度はんなん海の学校活動実績

回	2024年	曜日	時間	イベント・活動内容	概要	場所等	生徒	他参加	備考
1	4月21日	日	10:00 ~ 12:00	はんなん海の学校 オリエンテーション	スケジュールなどの説明。学習会以外は、毎回の感想や気づいたことをレポートにまとめて次回に提出する。	尾崎公民館1階研修室	9	9	
2	6月8日	土	11:00 ~ 17:30	はんなん海の学校花枝採取	セブン-イレブンの活動に参加。 準備から生物同定作業、片付けまで実施。	福島海岸	6	300	阪南セブンの海の森活動と同時開催
3	6月30日	日	14:00 ~ 17:00	はんなん海の学校 学習会1(一般公開)	講師の先生3名(澁澤寿一様・木村尚様・黒田桂菜様をお招きした学習会とグループディスカッション。詳細は別紙参照。	まもる館	10	61	海と人との関係(公開講座)
4	7月21日	日	11:00 ~ 16:00	はんなん海の学校体験活動 生き物観察会	アマモ場の生き物調査。 準備から生物同定作業、片付けまで実施。	西鳥取漁港	9	2	協力:チーム☆ガサ、 日本ミクニヤ
5	9月15日	日	10:00 ~ 15:00	はんなん海の学校 海の安全教室(※1)	安全に海で遊ぶための講義と実技。	西鳥取公民館/西鳥取漁港	7	2	協力:CNAC
6	10月6日	日	9:00 ~ 17:00	はんなん海の学校体験活動 調査体験・漁業体験・魚食体験(※2)	船に乗って調査の体験と漁業見学 捕れた魚を使って魚の処理や手軽な調理を学ぶ	西鳥取漁港	7	10	協力:西鳥取漁協、ほか
7	10月27日	日	14:00 ~ 17:00	はんなん海の学校 海の仕事と町づくり	直接海に関わる仕事をしている人、海を含めた地域づくりをしている人から話を聞こう	尾崎公民館1階研修室	7	2	協力:ランドブレイン・ 日本ミクニヤ
8	11月16日	土	9:45 ~ 16:45	はんなん海の学校体験活動 アマモ種まき	箱作自然海岸での播種。 セブン-イレブンの活動に参加。	箱作自然海岸	4	300	阪南セブンの海の森活動と同時開催
9	11月17日	日	13:00 ~ 16:00	はんなん海の学校体験活動 関西国際空港施設見学	空港の仕事や立地を活かした活動、苦労など、総合的なお話と施設見学。	関西国際空港	10	14	協力:関西エアポート
10	12月8日	日	13:00 ~ 16:00	はんなん海の学校体験活動 カキ養殖作業体験(※3)	カキの講義、カキ引き上げ・カキ割体験、カキ筏見学。	波有手のカキ小屋	10	11	協力:西鳥取漁協、漁師鮮度
11	1月19日	日	13:00 ~ 17:00	はんなん海の学校 学習会2(※4)	グループ作業。1年間の活動を通じて感じたことやどうしていきたいのかななどを整理。	尾崎公民館1階研修室	5	1	
12	3月2日	日	13:00 ~ 17:00	はんなん海の学校 学習会3(※5)	一年間の振り返り。 グループ毎の成果のとりまとめ。成果発表会に向けて	尾崎公民館2階研修室			

※1: CNACより講師を招いて実施。午前中に講義、午後に体験、その後まとめを行う。

※2: 午前中に乗船して、漁業体験・調査体験を行う。漁業体験は、定置網かタコカゴ漁見学・体験する。調査体験は採水採泥、機器計測を行い、野帳の付け方やサンプル処理なども体験する。
午後は、漁業体験で捕れた魚介類のさばき方の講習と、実際にさばいて調理を行う。

※3: 乗船してカキ養殖筏見学。下船後カキ作業体験・カキについての講義・試食を行う。

※4: 10月の調査体験のデータの整理方法やそこから読み取れる環境についての考察を学ぶ。
グループ毎に学習会1での各自のレポートおよび体験のレポートを参考に、一年間の活動を通じて感じたことや自分たちが行動できること、地域の人たちと一緒にできることを考えて整理する。

※5: 一年間の振り返りを事務局で行うとともに、5/10の大阪関西万博での成果報告会に向けた準備を行う。





2025/02/11

アンケート分析全体結果まとめ

※初回アンケート・最終アンケートは計10人でまとめた

● 入学理由 **初回アンケート**

海が好き・興味がある・学ぶ（5人）

生き物が好き（2人）：とくに小中学生

環境問題（1人）

地元を知る（2人）：とくに大人

研究（1人）：大学院生

※「海が好き・地元を知る」と両方を答えた方が1人いた

● 楽しみな回 **初回アンケート**

※人数改訂版（計10人）

3人ずつ	1人ずつ
C：生き物観察	D：海の安全教室
H：空港見学	
I：カキ養殖	

● 印象に残った回 **最終アンケート**

3人ずつ	1人ずつ
C：生き物観察	A：花枝採集
D：海の安全教室	E：漁業調査体験・魚食体験
	H：空港見学
	I：カキ養殖

● 個人変化表

No	名前	年齢層	M/F	初回	最終
4		中学生	M	C	C
5		中学生	F	H	C
6		小学生	F	D	I
7		中学生	M	H	E
8		小学生	F	I	D
9		中学生	M	C	C
1 1		社会人	F	H	D
1 2		大学院生	F	I	A
1 3		中学生	M	C	H
1 4		社会人	F	I	D

● 楽しみな理由 初回アンケート

普段では得られない貴重な体験を求めている (3人)

(普段見ることができない・学べないこと、専門家との交流など)

生き物を知る (3人)

カキが好き・食べたい (3人)

その他：安全に海で遊ぶため、飛行機 (2人)

※「学ぶ・カキ」と両方答えた方が1名

● 印象に残った理由 最終アンケート

A：花枝採集

阪南の人の温かさ、都会とは異なる

「地域交流→地域愛⇒環境保全」を身近に感じたい機会

C：生き物観察

色々な魚の種類が観察できた

魚採り楽しかった、観察勉強になった、専門家に教えてもらった

「外来種」→「身近」に目を向ける

D：海の安全教室

溺れた時の対策考える→実践する (2人、実践は3人)

(講義だけでは理解できないことを実践で補う)

「くらげ」「生き物観察」など講義・実践でも「生き物」関連に興味を示していた

E：漁業調査体験・魚食体験
魚さばいた、漁業近くで見た

H：空港見学
 普段では得られない貴重な体験ができた

I：カキ養殖
釘打ち大変→楽しい
 カキがおいしい

● 行動目標

・海的环境をよくするために自分が今できることを書いてみよう！

初回	最終
<u>海関連</u> 海を汚さない 海の生き物が住みやすい環境をつくる 海のゴミを拾う <u>ゴミ関連</u> ポイ捨てをしない・させない（3人） 分別（2人） ゴミを拾う（2人） ゴミを出さない 清掃活動に参加 <u>生活関連</u> 環境に良いモノをつかう 節電・節水 食器を洗う時に、油を流さない <u>活動関連</u> アマモの再生活動・普及活動 「知る」 海洋教育の研究を行う	<u>海関連</u> ・海を自然を大切にする ・海をはじめ、自然に感謝、海を楽しむ、大切にするために海を好きでいる ・ポイ捨てなど海を汚す行為をやめる <u>ゴミ関連</u> ゴミはゴミ箱に捨てる ゴミを捨てない ゴミを持ち帰る <u>生活関連</u> ・陸の環境を良くすると海的环境もよくなることから、節水・節電・食ロスを意識 ・油を流さない・ペットボトルや缶のリサイクル→間接的に海的环境良くする <u>活動関連</u> 海洋教育の研究を続ける アマモの再生活動、ブルーカーボンの普及活動、藻場を増やす（2人）

※回答を要約しています。分類はあいまいです。

・学んだことを家族や友達、地域の人に伝えるためにできることを書いてみよう！

初回	最終
<p><u>学びをまとめる</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ポスターを作る ・スライドを作る（目的：海のことを知ってもらう） ・ノートや表をまとめて発表する ・自主学習などに海について書く（みんなに見てもらえる機会） ・ポスターをインターネット公開（内容：今どれだけ生き物が困っているか） <p><u>話す</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・職場で話す ・学校で友達に話す（内容：「海の魅力」について） ・市内の人へちょっとした話題に取り入れながら知ってもらう（内容：海の学校での学び・目的と理由・市内の人は大阪にきれいな海があることをしらないから） ・海外に住む家族にビデオ通話（内容：海の学校での学び・目的：海の近くに住んでいない人にも海洋環境に興味を持ってもらう） <p><u>特定の場面で伝える</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・外来種のナルトハマギクをつむときに友達にも伝えている ・買い物に行ったときに言ったりする <p><u>周囲を巻き込み行動へ</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・浜辺で遊ぶときや清掃活動に友達や家族を誘う 	<ul style="list-style-type: none"> ・分かりやすく説明する ・口で伝える <p><u>学びをまとめる</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ポスターなどを作る ・発表したり、パンフレットをつかう ・SNSで活動を伝える（社会人2人）（大阪市内の人へ近場の阪南の海を知ってもらう）（自分の考えや学びを伝える） <p><u>話す</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・友達・知り合いに少し海の学校のことを言ってみる ・家族や友達に話す ・日常会話やメールのやりとりのなかで話題の一つとして取り入れる ・大阪にもきれいな海と美味しい魚がある事を伝える <p><u>周囲を巻き込み行動へ</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・展示とワークショップ（内容・目的：藻類の魅力や大切さを知ってもらう）

※実際に行っていることを新たなカテゴリーとして分けるか迷った

- 大阪湾のイメージ SD 法

● 「大阪湾」ときいて思い浮かべること

初回	最終
<p><u>阪南関連</u> アマモ場 カキ養殖 校歌に「ちぬのうら」という歌詞がある（阪南市の中学校）</p> <p><u>建物</u> 関西国際空港（2人） 海遊館</p> <p><u>生き物</u> スズキ、チヌ（クロダイ） 魚、わかめ 生き物の種類が多い</p> <p><u>大阪湾の水のイメージ</u> ちょっと汚い</p> <p><u>大阪湾への距離感？</u> 用がないと行かないエリア 行きにくい、気軽にビーチに行けない</p> <p>都会にある海</p> <p><u>その他</u> 沿岸開発</p>	<p><u>阪南関連</u> カキ養殖 おいしいカキ</p> <p><u>建物</u> 関西国際空港</p> <p><u>生き物</u> スズキ、チヌ（黒鯛） 多種多様な魚が生息（2人） 魚の少ない海 魚・養殖</p> <p>魚がおいしい</p> <p><u>大阪湾の水のイメージ</u> 少し汚い あまりきれいでない うみがきれい</p> <p>つの字型一内海である、波がおだやか</p> <p><u>その他</u> 意外性 魚庭の海 「悲しい色やね」 by 上田正樹♪</p>

※分類はかなりあいまいです。

- 「大阪湾」で起きている環境問題について、知っていること

初回	最終
分からない (5人) <u>水質系</u> ・海洋汚染 (2人) →うち1人 (昭和よりきれいになって魚が減っている、イカナゴ) 少しローカル ・地球温暖化 ・海水温の高温化 ・生き物の住む場所の減少 ・アマモ場の減少 ・富栄養化 (瀬戸内海でも汚染がひどい方) <u>時事ニュース</u> ・万博会場メタンガス爆発	分からない (2人) ・汚染されている <u>水質系</u> ・ゴミなどによる水質悪化 ・水質汚染 ・大阪湾奥部の水質汚濁 ・海水温の高温化 ・アマモ場の減少 ・アオサの増えすぎ ・ヘドロがある 高度経済成長時よりまし <u>時事ニュース</u> ・越冬のため南下した魚が大阪湾で発見 ・火力発電所の排水口にクラゲが詰まって稼働できない、腐ってひどいにおい

- 大阪産の魚介類・海藻を食べたことがあるか **初回アンケート**

計 10 名

ある：8 人

わからない：2 名

- 『大阪産の魚介類や海藻』のイメージ

- はんなん海の学校を知った媒体

チラシ：2 人

Instagram：1 人

家族・知人の紹介：8 人

その他 (ネット検索)：1 人

※複数回答者がいるので人数は合いません

- 1年間で学んだこと 最終アンケート
- 活動に満足しているか 最終アンケート

● 行動目標 通常版アンケート

<p>第3回 生き物観察</p>	<p><u>行動・意欲</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・浜辺や海底にゴミがあるので、拾ってきれいにしたい ・海・海の生き物・魚について知る（3人） <p><u>疑問</u></p> <p>外来種はどうやって来るのかが疑問に思いました。</p>
<p>第4回 安全教室</p>	<p><u>行動・意欲</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゴミをきめられた場所に捨てる。 ・「知る」 <p>・準備と危険要因の回避、楽しむために知識をもつ意識を持つ</p>
<p>第5回 調査・魚食</p>	<p><u>行動・意欲</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・海の透明度をもっとよくする方法を考える ・水の色（たとえば飛行機から見た色）について濁度やクロロフィル…etc 考えながら見るとおもしろいかもしれません。 ・次自分が魚をおろす時は、ダイソーの「新しい」包丁を買い、使いすて 感覚で使おうと思う。 <p><u>周りを巻き込む提案</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・魚貝類の苦手な方でも身近に感じられる食体験があればいいな <p><u>気付き</u></p> <p>海洋教育は海に出向くだけでなく、食育という形でも育めるなという新たな気づきがありました。</p> <p><u>疑問</u></p> <p>魚の内臓にはどんな種類があるのだろうか</p>
<p>第6回 講義</p>	<p><u>行動・意欲</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・南海トラフがくる前にやりたいことをやったり、災害対策をしたいなと思った ・日々の行動を見直して生活していこうを思いました。 <p>・地域の問題などをなくしていこうと思う（みんなと協力したり呼びかけたり）</p>

	<p>・何か計画を立てる際には、色んな立場の人の意見をたくさんきく、そして、海にかかわる仕事では、人の気持ちと自然の気持ちを両立させることの大切さを学び、大事にしたいと思いました。</p> <p><u>周りを巻き込む提案</u></p> <p>・阪南市の町づくりにおける課題をあまり知らないなと思いました。海に特化して気になっているのは、来年は海開きがあるのかどうか…。海の学校の生徒が阪南の海を盛り上げられるアイデアを考えられたら素敵だなとも思っています。</p> <p><u>その他</u></p> <p>・事前後復興計画：目からうろこだった。</p>
<p>第7回 アマモ</p>	<p><u>行動・意欲</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・アマモをふやしていくこと。 ・はんなん海の学校で学んだことを誰かに伝える…難しくないように、楽しめるように！！ ・岩井さんがいなくても、阪南市で海洋教育が続くようにもっと海洋保全に対する根強いルーツを定めなければならない。 <p><u>気付き</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・地道な“草の根運動”や“啓発活動”の必要性
<p>第8回 関空</p>	<p><u>行動・意欲</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・飛行機がバックする時に「押されているんだ」という事を感じて乗りたい(笑)！！ ・(疑問にある時事ニュースより)日本は島国なので、ヨーロッパ諸国とは事情は異なりますが、6倍は大きいです…。(飛行機は大好きですが、この点を考えると船旅を増やそうかなと思ってしまいます。時間はかかりますが、結構好きです。) <p><u>気付き</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・人が作った物はだいたい改善が必要なのかなと思った。 ・2030年前までにCO₂の放出量を2019年より10%少なくすることが目標らしいが、これ目標か？2019年のCO₂量も十分高いのに、そのたった10%減少がなんやねん。もっとがんばってくれ。 <p><u>疑問</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・温暖化のえいきょうでなぜ空港の位置がさがっていくのか

	<p>・飛行機自体、環境（温暖化）への影響が大きい交通手段と耳にしたことがあります。電車の6倍のCO₂排出量とか…。ヨーロッパでは飛行機での移動を控えようという考えもあるそうですが、航空会社はこの点をどう捉えているのかが気になります。</p>
<p>第9回 カキ</p>	<p><u>行動・意欲</u></p> <p>・海中の栄養の偏りが多くあることを知りました。なので、もっと海中の栄養は他にどんなものがあるのか知りたかったです。</p> <p>・埋め立て（環境に良くないこと）がここまで広がっている大阪においての未来に向けての取り組みについてさらに興味を持ちました。</p> <p>・もっと色々な人に大阪でおいしい魚介類がとれることを知って欲しい。それを通して大阪湾の環境は守る価値があることを理解して環境活動に取り組んで欲しい。</p> <p><u>周りを巻き込む提案</u></p> <p>・はんなんの海に埋め立て計画がなくなってしまう、逆に自然が残っているという事をアピールして何らかの観光や町おこしにさらに使いたい。</p> <p><u>気付き</u></p> <p>・カキが1日に200Lもの海水をろ過してくれていることをして、重要性を感じました！</p> <p><u>疑問</u></p> <p>・カキが食べられはじめたのっていつからなんだろう？</p> <p>・ホタテのからにたくさんのかきがついていることが疑問に思った。</p>

● スタート版で立てた行動目標について、実際に行ってみたいこと

<p>第3回 生き物観察</p>	<p><u>ゴミ関連</u></p> <p>・道にゴミを捨てていない</p> <p>・ごみをひろった</p> <p><u>生活関連</u></p> <p>・家や施設で節水</p> <p>・ペットボトルのラベル、キャップを分別して捨てること</p> <p>・食器を洗う時、拭いてから洗う・生ゴミ処理器（肥料になるやつ）を使い始めた</p>
----------------------	--

	<p><u>活動関連</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・原っぱの活動で清掃活動に参加 <p><u>講義内容</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・なるべく魚の死体は海に還す
第4回 安全教室	<p><u>ゴミ関連</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゴミをきめられた場所に捨てる <p><u>行動・意欲</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「知ること」(大人2人) <p><u>講義内容</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・お風呂で浮いてみた(ペットボトル)
第5回 調査・魚食	<p><u>行動・意欲</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・知人に活動について話をした(魚嫌いの長男はムリって、年長の人は興味を持ってもらえた) ・「知ること」 <p><u>周りを巻き込む提案</u></p> <p>伝える一つとして、我流調理→魚離れを防ぎ美味しいものを伝えたい</p> <p><u>はんなん海の学校以外の活動</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・再エネ活用の発電方法を考えた
第6回 講義	<p><u>講義内容</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・避難経路の確認。今回お話を聞いて、重要性を改めて感じたため ・自分の家は海が徒歩10秒くらいなので簡単な津波対策を考えた <p><u>はんなん海の学校以外の活動</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・アマモの再生活動に参加・東京湾大感謝祭でブルーカーボンの普及啓発活動を行った
第7回 アマモ	<p><u>ゴミ関連</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゴミを拾った ・ビーチクリーン。“ごみを捨てない”、“見つけたら拾う”は当初から意見として出ていました。自分自身や周りにポイ捨てをする人はいなくても、

	<p>実際は人の手によって汚されている側面がまだまだあることにも気が付くことができたのは良かったです。</p> <p><u>行動・意欲</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 阪南市の市長と自分の研究内容について話せた。市長として阪南の海洋教育を日本中の海洋教育のお手本にしたいとおっしゃってました。私もハワイの海洋教育の現状について説明し、阪南市民に阪南の海に対してプライドもってもらいたい事と、日本でNPOの接続率の低さについて話した。 <p><u>はんなん海の学校以外の活動</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ②に関して、魚つりでアジを釣りました。娘と一緒に三枚おろしにして、動画にとって学校で流してもらいました。娘も一人でおろせるようになっていて、魚食体験がとても役立っていました。私だけじゃ教えないことを海の学校で学び、そして人に伝えることもできました！！これはすごいことです。学校への伝え方、お友達（次世代）にも伝える努力は目標をこえてるような気がします…(笑) すばらしいです。
<p>第8回 関空</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 重要な話はメモする ・ 「知る」がメインでした。取り組み内容の規模が壮大なのでマネをすることは難しいですが、個人的にもよく使う場所なので知れて楽しかったです。 ・ 飛行機に夢中であんま阪南の海について話す機会はなかった。 <p><u>講義内容</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 海の今の現状や海藻などの名前や藻場にすんでいる生き物の群れなどを知った。 ・ 今回水素ガスのバスに乗ったり、車に水素を入れるところを見たが、まだまだ一般人が乗れるようになるには（自家用車として）先の話だと思った。しかし、こうして一部では取り組み（試験的だとしても）をしていることに明るい未来を感じた。自分でもできればハイブリッドや電気自動車（チャンスがあれば）を利用したい。
<p>第9回 カキ</p>	<p><u>講義内容</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ カキをふやすための活動 ・ 食べたり、見たりしてカキのいろんなことを知れた ・ “阪南”の海について、またひとつ深く知ることができました。海にも出たかったです。

・海の学校の生徒がみんな講義をしっかり聞いていた姿勢に阪南の海に興味がある事が分かった。阪南産のカキを食べる事で地元の海の豊かさを肌で感じられたと思う。

・実際に行ったことはないが、どの貝も生食できるくらいきれいな水になれば良いなあ…と思う。しかし、そこまできれいになると、逆に栄養不足になるのかな？

生活関連

・自宅では天ぷらの油やフライパンの油を拭き取って洗うのは習慣になりました。

ゴミ関連

学校の帰り道でゴミをひろった

はんなん海の学校以外の活動

・大丸の未来のエココンテストで入賞して、関西万博の入場チケットをゲットした ・さかなクンの東京都下水道レポートコンクールで入選して、さかなクンの出前授業をうけれることになりました！

・みかんからバイオアルコールを作る その他の果実からも作る

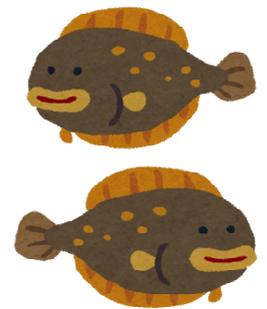
これから1年間の活動に向けて、興味のあることや目標について考えてみよう！

1. はんなん海の学校に入学した理由を教えてください。

小さい時から阪南の海で遊ばせてもらっていて、はらっぱで阪南の海はとても貴重だということがわかりそこからおもしろそうだと興味を持ったからです。

2-①. 楽しみにしている回を一つ選んでください。(A~Nから選び、()に記入してください)

(H)	A.花枝採集 (6/8)	G.アマモ種まき (11/16)
	B.学習会 1 (6/30)	H.空港施設見学 (11/17)
	C.生き物観察会 (7/21)	I.カキ養殖作業体験 (12/8)
	D.海の安全教室 (9/1)	J.学習会 2 (1/19)
	E.漁業調査体験・魚食体験 (10/6)	K.学習会 3 (3/2)
	F.聞き取り「海の仕事と町づくり」(10/27)	



今日のお魚：上がヒラメ
下がカレイ

2-②. 2-①で選んだ回で、楽しみにしていることは何ですか？ 具体的に書いてみよう！

一度だけ、関空の周りのスナメリ探索？に行ったことがある。関空の周りは魚がたくさんいると聞いたし、ふつうは、海から勝手に近づいたら捕まると聞いた。関空に行ったとしても、施設の人の話を聴けるそんな貴重なことは、私の人生のなかでほぼないと思うから楽しみです。

3. 「行動するための目標」を立ててみよう！

・海環境を良くするために自分が今できることを書いてみよう！

・学んだことを家族や友達、地域の人に伝えるためにできることを書いてみよう！

- ・ごみを出さないように心掛ける。
- ・海岸の清掃活動に参加する。毎年、行きます。
- ・節電、節水を意識する。

- ・浜辺であそぶときや清掃活動に友達や家族を誘う。
- ・外来種のナルトハマギクをつむとき友達にも伝えている。

お名前： XXXXXXXXXX

今日の活動のまとめ (はんなん海の学校 学習会1 (一般公開))

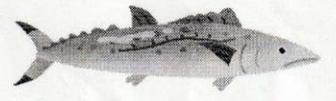
講師3名 (澁澤寿一様、木村尚様、黒田桂菜様) をお招きした学習会とグループディスカッション

1. 今日の活動で、学んだことや感じたことをまとめてみよう！

<p>澁澤先生 昔の江戸が脱炭素社会だったことにおどろきました。今日目指す持続可能な社会にも「循環」が大事だと分かりました。</p>	<p>木村先生 東京三千万の人にどう伝えるか、あきらめずに取り組んできたことが分かりました。私も東京湾を世界遺産になるように、取り組みたいです。</p>	<p>黒田先生 直近10年で肉類と魚介類の年間消費量の差がふえたことにおどろきました。もっと魚を食べてほしいな、と思いました。</p>
--	--	---

2-①. 今日の活動で出会った人を書いてみよう！

[澁澤寿一先生]



今日のお魚：サワラ

2-②. 2-①で書いた人とお話しした内容についてまとめてみよう！

日本の経済の基礎をついた澁沢栄一さんのひ孫である先生が、「豊かになった日本は本当にしあわせになったのかな」と思うことがあるとおっしゃったことが心に残りました。これからの日本は、とにかく経済をよくするためから、生きる意味を問う労働 (meaning of life) をみんなで考えていくというお話しに共感しました。

一万円札、大切に...



阪南市市民協働・共創事業評価シート

記入日 令和7年2月17日

阪南市市民協働・共創事業提案制度を活用して協働で実施した事業について、成果と課題を広く共有するために、提起した視点で事業の評価を行ってください。

団体名	阪南まちおこし夢テラス（担当者名：寺田雄揮）
担当課名	生涯学習推進室（担当者名：河田泰之）
事業名	コミバスで行くはんなん探訪
事業開始からの実施期間	令和年6（2024年）4月1日～令和9年（2027年）3月31日
提案の区分	<input checked="" type="checkbox"/> 市民自由提案部門 <input type="checkbox"/> 市設定テーマ部門
協働の形態	<input checked="" type="checkbox"/> 事業委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 実行委員会・協議会 <input type="checkbox"/> その他（ ）
事業の年度	<input checked="" type="checkbox"/> 初年度 <input type="checkbox"/> 継続2年目 <input type="checkbox"/> 継続3年目 <input type="checkbox"/> 継続4年以上（ 年目）

1. 事業の概要

（1）事業の目的（事業を企画した課題、現状、背景についても記入してください）

阪南市は山・里・海の自然が豊かで、史跡や伝承も多くあるが、現状では市民がそれに触れる機会が少なく、市外からの景観や歴史を求めて来訪する人は多いとは言えない。観光施策もあるが外部からの観光客を誘致するイベントが目立ち、市民が気軽に参加できる観光事業がない。

この事業は、市民が阪南市の魅力を再発見するため、身近にある自然や史跡・社寺・石仏・伝承・グルメなどに触れる機会や情報を提供することを目的とする。具体的には、コミュニティバスを活用して少人数（1人）でも気軽にはんなん探訪ができるよう、わかりやすいパンフレット・チラシを提供する。

（2）役割分担（団体、事業担当課それぞれの役割を記入してください）

団体	まちあるきプランの作成・実行・ブラッシュアップを継続しパンフレットを印刷
事業担当課	事業実施にかかる広報などの支援

（3）事業費

団体	843,900円 委託費		
市	委託費 843,900円 費目を記入（（例）補助金 円、委託費 円 等）		
合計	円		
初年度の事業費計	313,700円	団体分担 0円	市分担 313,700円
前年度の事業費計	円	団体分担 円	市分担 円

(4) 事業の内容

※名称・日時・場所・参加人数・内容・収益など具体的に記入してください。

※活動の写真や資料があれば、添付してください。

①打合せ

〔日程〕4/9、7/20、8/10、8/19、9/28、1/8、2/16

〔場所〕阪南市市民活動センターほか

〔内容〕プランの企画検討（別添1参照）

②現地確認

〔日程〕4/25、5/16、5/23、6/13、6/27、10/31、11/30、12/22、1/31、2/5
(2/27、3/7予定)

〔場所〕市内各所

〔内容〕プランの現地確認（別添2参照）

③その他

会員各人が、各プランで紹介する文化遺産などの原稿作成などを行った。

(5) 事業に参加したのは想定した人たちでしたか。参加した人たちの反応はどのようなものでしたか。

※その人たちや組織に何らかの変容があれば、それも交えて記入してください。

上記活動を通じて、今回の事業目的の共有と事業の円滑な実施だけでなく、会員各自にとって普段の活動への動機づけや、知識の獲得など自己研鑽にもつながった。

(6) 協働で事業を進めるにあたり、工夫した点があれば、記入してください。

自由な意見交換と、会員各自の自主性を尊重した役割分担により、当事者意識の醸成に留意した。

2. 協働事業の評価

- 下記の評価項目について、それぞれの立場から評価してください。評価基準は5段階としてください。
 - ・大変よくできた（5点）
 - ・よくできた（4点）
 - ・できた（3点）
 - ・あまりできなかった（2点）
 - ・できなかった（1点）
 - ・評価項目として適当でない（N）
- ※「N」を選択した場合は、下記記述欄にその理由を記入してください。

(1) 評価

	評価項目		評価点		
			行政	団体	平均
事業実施前	1	実施する事業の課題・背景や目的を両者で確認・共有しましたか。	3	3	3
	2	事業の到達目標を協議して設定しましたか。	3	3	3
	3	事業の実施に際して、計画書や工程表の作成等、計画的な実施のため協議・工夫しましたか。	3	3	3
	4	事業を進めるための役割分担や責任を協議して決めましたか。	4	4	4
事業実施中	5	進捗管理、必要な情報共有をしましたか。	4	4	4
	6	状況の変化に応じて、協議しながら、柔軟な対応ができましたか。	3	3	3
	7	お互いの得意分野や人材・情報を活かし、協力しながら、事業を進めることができましたか。	3	3	3
事業実施後	8	設定した目標は達成できましたか。	3	3	3
	9	協働で事業に取り組んだことで、単独で実施するより、成果を上げることができましたか。	3	4	3.5
	10	責任の所在や役割分担は適切でしたか。	3	3	3
	11	事業には、当事者、関係者をはじめ、多様な人たちの参加を促すことができましたか。	3	3	3
	12	予算は妥当でしたか。	3	3	3
	13	課題の解決策や今後の方針について、協議を行いましたか。	3	3	3
	14	協働事業に取り組むことによって、組織に何らかの変化をもたらしましたか。	3	3	3

「N（評価項目として適当でない）」を選択した場合は、その理由を記入してください。

番号	理由

(2) 協働して良かったこと、団体や行政の単独ではなく協働で実施したことによりどのようなメリットがあったかなどを記入してください。

団体 にとって	行政からの支援を得ることで、事業を円滑に進めることができた。
行政 にとって	成果品（パンフレット）の活用の担い手に発注することで、内容の充実と納品後の活発な活用が見込まれる。
市民 にとって	住民だからこそ知っている情報がパンフレットに盛り込まれるなど、内容の充実が見込まれる。

(3) 協働して課題だと感じたこと、翌年度も事業実施する場合はその改善のために具体的にどのように取り組むかを記入してください。

団体 にとって	事業実施の工程作成にあたり、契約期間の縛りに当惑した。次年度は、事業実施予定を踏まえた契約期間の設定を検討したい。
行政 にとって	団体との業務委託だったため、適正な支援の範囲に苦慮した。次年度は、団体のスキルアップを促し、円滑な事業の実施につなげたい。
市民 にとって	とくになし。

(4) 今後の具体的な展開 ※団体と事業担当課が話し合い、記載してください。

■今後も協働事業として実施する（提案事業継続 提案事業以外）

終了する

市が単独で実施する

団体が単独で実施する

その他（ ）

上記の回答とした理由を記載してください。

（『協働事業として実施』を選択された場合は、提案事業（以外）とする理由も含めて記載してください。）

本事業は3か年事業であり、令和8年度を最終年度とする事業計画のため。

(5) 実施事業を今後、どのように活かし発展させるのか。また、団体の自主財源確保の方法などを含めた具体的な事業展開の内容などを記入してください。

成果品（パンフレット）の増刷を市内企業からの広告収入で賄うなど、事業終了後も自立自走できる事業の方向性を検討し、団体の自主事業としても継続発展させたい。

(6) その他

住民が選んだ阪南市の魅力を、市内外に存分に発信できるパンフレットの作成を目指したい。

阪南まちおこし夢テラス会議
検討会メンバー各位



コミバスで行く阪南探訪事業のコース概要

コミバスで行く探訪コースについては、検討を重ねた結果、次の11コースに決定した。

コースタイトル	散策ポイント（ルート順）
①近世巡礼の道に栄えた山中宿を満喫	10:07 JR 和泉鳥取駅（電車）→10:10 山中溪駅前→熊野・紀州街道「歴史の道」→賽の神→山中宿本陣跡→山中神社→旧庄屋宅跡→地福寺→馬目王子跡→わんぱく王国→12:58 山中溪駅前（コミバス）→和泉鳥取駅前
	おすすめの店：たまご屋 tamaco
②はんなんの溜め池伝説をめぐる	9:30 阪南市役所→9:44 和泉鳥取駅→伏拝の大鳥居→琵琶がけ（紙芝居）→にぎり池→庚申堂→高田池→山中川からの導水路→神武天皇腰掛石→11:39 平見→尾崎駅前
	おすすめの店：ダイニング光、イルビアット、クウクウ
③重要文化財の社殿！ 波太神社と周辺の社寺をめぐる	9:30 尾崎駅前→10:04 波太神社前→祐道寺→波太神社→鳥取神社→蓮池→首斬り地蔵→11:45 石田→尾崎駅前
	おすすめの店：精華園、トレイン、たこ焼き
④舞！なぞの古墳と消えた舞村の秘密を探る	13:38 阪南市役所→13:57 舞4丁目→塚谷古墳→棚田→舞村跡→孝子越街道道標→指出森神社→15:44 貝掛→阪南市役所
⑤大坂夏の陣ゆかりの物語をたどり はんなんの最古級の観音様を礼拝	13:38 阪南市民病院→13:48 鳥取ノ荘駅前→西鳥取公民館→法福寺→銀座通り→西鳥取観音堂→楫取神社→西鳥取漁港→勇夫善六の墓→15:43 鳥取ノ荘駅前 →阪南市役所
	おすすめの店：英進丸、カキ小屋

<p>⑥近世泉南の浄土信仰の拠点とお大師さんゆかりの清水をめぐる</p>	<p>9:30 阪南市役所→尾崎町役場跡→尾崎別院→本舗辻八(和菓子) →なごみ(えびの浜近く)→清水大師→稱念寺→古家家→ 12:11 鳥取ノ荘→阪南市役所</p> <p>おすすめの店: 辻八、なごみ</p>
<p>⑦ぶらりはんなん! 近世土木遺産をめぐる</p>	<p>9:30 尾崎駅前→10:03 小川口→新池(しの池)扇状地→ 苗代池(湧き水の池)→取水口→架樋→導水路→河成段丘→ 11:42 小川口→尾崎駅前</p> <p>おすすめの店: 精華園、トレイン、やぐら</p>
<p>⑧男里川下流の自然と周辺の史跡を学ぶ</p>	<p>9:17 尾崎駅前→9:29 福島第3児童遊園→大阪湾と関空の景色を見る→干潟→兔砥橋→旧孝子越街道跡→日限地藏→孝子越街道道標→尾崎港→弁財天→酒蔵→尾崎駅前</p>
<p>⑨箱の浦の山中新田、山中家の墓、寺社跡を訪ね、その偉業を偲ぶ</p>	<p>9:45 阪南市役所→10:09 南山中→山中新田→泉福寺・貴船神社跡→市役所SDGsの茶畑→箱の浦住宅→山中家墓地と村の墓地→田山稻荷神社→12:21 加茂神社→阪南市役所</p>
<p>⑩茶屋川、箱作自然海岸と多くの植物観察、里海公園での楽しいひととき</p>	<p>9:30 尾崎駅前→9:47 箱作駅前 →茶屋川→宗福寺→人名橋→中世の館跡→箱作自然海岸→里海公園→ヒトモトスキ→加茂神社→12:05 箱作駅前→阪南市役所</p>

<p>①自然田、鳥取中を訪ね、史蹟と抜水施設の偉業を学ぶ</p>	<p>9 : 3 0 尾崎駅前→9 : 3 9 平見→坂ノ口地藏尊→南家住宅→自然居士旧跡→瑞寶寺→抜水の施設（井戸・洗い場・湧泉之碑・抜水水路・水田）→三本松→阪南市役所</p>

2024.9.28 制定、11.19 改定、12.21 改定、2025.2.15 改定

阪南まちおこし夢テラス会議
検討会メンバー各位

コミバスで行く阪南探訪事業第1回検討会議議事録

開催日：2024年4月9日（火）13:00～16:00

場 所：尾崎公民館2F 談話室

出席者：樋野、大西（博）、今井、岩橋、古川、寺田（記録）

議事・検討・決定事項

1. コミバスで行く阪南探訪計画書の確認を行う。

①令和6年度の委託費予算総額は178,000円となっているが、市の採択された計画書の額と合っているかを確認する。

⇒178,700円→313,700円が正しい。

②報償費135,000円→270,000円が正しい。他の項目は、会計予算計画通り。

③会議をする場合、市民活動センター以外では、会場使用量が発生するが、項目を設けて、総予算額以内であればよい。

政策共創室担当者に確認（4/11）

2. 本検討会議メンバーは、退会者が発生するので、2名程度増やす必要がある。夢テラスの会議で、参加を呼びかけることとする。

3. 調査日の決定

担当者等の未定の部分があるが、順次決めていくことになった。

①4月25日（木）

緑ヶ丘・さつき台コース（波太神社周辺）

担当：樋野、岩橋、今井、寺田

時間：9:33（市民病院）乗車

②5月16日（木）

いずみが丘・箱の浦コース（新山中）

③5月23日（木）

④6月

⑥9月1日（日）

⑧11月1日（金）自然田

⑤7月

⑦10月

⑨1月和泉鳥取

以上

阪南まちおこし夢テラス会議
検討会メンバー各位

コミバスで行く阪南探訪事業第2回検討会議議事録

開催日：2024年7月20日（土）9：30～11：30

場 所：市民活動センター3F 活動ルーム1

出席者：今井（部会長）、大西善、片山、古川、前原、今井、野林、岩橋、
大西博、寺田（記録）

生涯学習推進室：山千代、河田

議事・検討・決定事項

1. コミバスで行く阪南探訪業務委託内容について

業務委託契約書を阪南市と6月12日に締結した。

この業務委託は、3ヶ年事業とし、1年目の事業の業務内容としては、
文化遺産を用いたテーマを設定し、物語性のあるコース案を作成する。

- ・設定したコース案をコミュニティバスで周遊するルートを作成する。
- ・夫々コース案毎にコミュニティバスの利用状況などを調査する。

成果品として

- ・報告書（データ及び紙媒体、コース案の概要がわかるもの）
- ・納期令和7年3月20日（木）生涯学習推進室

1年目の委託料は、313,700円

この契約に対して、2点の質問があり、生涯学習推進室より回答があった。

①質問：この委託料を使いきれなかった場合はどうすればよいか。

回答：委託契約料ですから、基本的には使いきるということ、使いきれない
等、金額を変更する場合は、変更契約になる。

②質問：下見等で、4月より活動をしている。契約は、6月12日になって
いるが、それ以前の活動は、どう考えたらよいか。

回答：請求書が6月12日以降であればよい。

2. コミバスで行く探訪コースの検討

6月27日までに5回の探訪コースの下見を行い、案としてまとめたが、
次の探訪コース案を検討した。

- ①6回目：緑ヶ丘・さつき台コースで、「新池・小川溪の自然を楽しむ」
尾崎駅前9：30乗車、小川口10：03下車、小川口11：42再乗車、
尾崎駅前11：54到着
- ②7回目：尾崎コースで、「男里川下流の自然と周辺の史跡を学ぶ」
尾崎駅前9：17乗車、尾崎公団北9：27下車、再乗車は無しで徒歩で
帰る。
- ③8回目：緑ヶ丘・さつき台コースで、「山中溪の歴史街道の史跡を学ぶ」
尾崎駅前9：30乗車、和泉鳥取駅前9：44下車、和泉鳥取10：0
5（休日10：07）乗車、山中溪10：05（休日10：07）下車、
山中溪11：19（休日11：18）乗車、和泉鳥取11：19（休日11：
18）下車、和泉鳥取11：40再乗車、尾崎駅前11：54到着
- ④9回目：緑ヶ丘・さつき台コースで、「波多神社と周辺の史跡を学ぶ」
尾崎駅前9：30乗車、波太神社前10：04下車、石田11：45再
乗車、尾崎駅前11：54到着
- ⑤10回目：光陽台・舞コース「西鳥取の史跡と漁業、観光を学ぶ」
阪南市民病院13：38乗車、鳥取ノ荘駅前（上り）14：07下車、
鳥取ノ荘駅（上り）15：43再乗車、阪南市役所15：55到着
- ⑥11回目：光陽台・舞コースで、「史蹟と街並み、自然を学ぶ」
阪南市民病院13：38乗車、舞5丁目口13：57下車、鳥取ノ荘駅前
（上り）15：43再乗車、阪南市役所15：55到着
- ⑦12回：桃の木台・万葉台コースで、「史蹟と茶屋川、海岸の自然を学ぶ」
尾崎駅前9：30乗車、箱作駅前9：47下車、加茂神社（いずみが丘
・箱の浦コース）11：18再乗車、尾崎駅前11：36到着

※コースの詳細は「コミバス探訪コース案（第5回以降コース案）」を参
照して下さい。

この案の詳細検討を次回会議で行うことになった。

以 上

コミバス探訪コース案（第5回以降のコース案）

1

回数	コース名・テーマ	コース概要
第6回	<p>緑ヶ丘・さつき台コース</p> <p>「新池・小川溪の自然を楽しむ」</p>	<p>尾崎駅前（第2便）9：30乗車、小川口10：03下車、小川口11：42再乗車、尾崎駅前11：54到着</p> <p>案内コース</p> <p>小川口→小川の井関川との合流点→小川の堰→新池・菌池跡→苗代池（湧き水の池）→小川の堰からさつき台導水路→湧き水の小池→掛樋→自然田の田への導水路→河成段丘→小川口</p>
第7回	<p>尾崎コース</p> <p>「男里川下流の自然と周辺の史跡を学ぶ」</p>	<p>尾崎駅前（第1便）9：17乗車、尾崎公園北9：27下車、帰りは、徒歩で尾崎駅まで</p> <p>案内コース</p> <p>尾崎公園北→大阪湾と関空の景色を見る→砂丘跡→干潟→兔砥橋→旧孝子越街道跡→日限地藏→孝子越街道標→尾崎港→弁財天→酒蔵→尾崎駅前</p>
第8回	<p>緑ヶ丘・さつき台コース</p> <p>「山中溪の歴史街道の史跡を学ぶ」</p>	<p>尾崎駅前（第2便）9：30乗車、和泉鳥取駅前9：44下車、JRに乗り換え</p> <p>和泉鳥取10：05（休日10：07）乗車、山中溪10：05（休日10：07）下車、山中溪11：19（休日11：18）乗車、和泉鳥取11：19（休日11：18）下車、和泉鳥取11：40再乗車、尾崎駅前11：54到着</p> <p>案内コース</p> <p>山中溪駅→賽の神→本陣跡→山中神社→旧小学校跡→法福寺・子安地藏→旧庄屋屋敷→馬の目皇子跡→山中関所跡・経塚→わんぱく王国→山中溪駅</p>

回数	コース名・テーマ	コース概要
第9回	緑ヶ丘・さつき台コース 「波多神社と周辺の史跡を学ぶ」	尾崎駅前（第2便）9：30乗車、波太神社前10：04下車、石田11：45再乗車、尾崎駅前11：54到着 案内コース 波太神社前→祐道寺→波太神社→蓮池→首斬り地蔵→石田
第10回	光陽台・舞コース 「西鳥取の歴史史蹟と漁業、観光を学ぶ」	阪南市民病院（第4便）13：38乗車、鳥取ノ荘駅前（上り）14：07下車、鳥取ノ荘（上り）15：43再乗車、阪南市役所15：55到着 案内コース 鳥取ノ荘駅→西鳥取公民館→法福寺→西鳥取観音堂→尾崎漁港→勇夫善六の墓→横田水産→鳥取ノ荘駅
第11回	光陽台・舞コース 「史蹟と街並み、自然を学ぶ」	阪南市民病院（第4便）13：38乗車、舞5丁目口13：57下車、鳥取ノ荘駅前（上り）15：43再乗車、阪南市役所15：55到着 案内コース 舞5丁目口→舞幼稚園内塚谷古墳→舞村跡→貝掛の松の碑→小女郎稻荷→鳥取ノ荘駅
第12回	桃の木台・万葉台コース 「史蹟と茶屋川、海岸の自然を学ぶ」	尾崎駅前（第1便）9：30乗車、箱作駅前9：47下車、加茂神社（いづみが丘・箱の浦コース）11：18再乗車、尾崎駅前11：36到着 案内コース 箱作駅→茶屋川の鯉→宗福寺→人名橋→中世の館跡→自然海岸→ヒトモトスキ→せんなん里海公園→加茂神社

阪南まちおこし夢テラス会議
検討会メンバー各位

コミバスで行く阪南探訪事業第3回検討会議議事録

開催日：2024年8月10日（土）9：30～11：30

場 所：市民活動センター3F 活動ルーム1

出席者：今井（部会長）、古川、岩橋、大西博、寺田（記録）

生涯学習推進室：山千代、河田

議事・検討・決定事項

1. コミバスで行く探訪コースの検討

キモになるのは、①魅力をわかり易く伝えるための「物語性」と②行きやすいことを担保することである。

(1) 出席者メンバーから「物語性」のアイデア出しを行うため、市内の是非紹介したい名所旧跡を起点に考えることにした。出席者から出てきた名所旧跡は、次の内容であった。

紀州街道、法福寺、山中溪、尾崎別院、塚谷古墳、舞村、清水大師、西鳥取観音堂、和泉鳥取駅周辺の溜め池、波太神社、小川の架樋など。

(2) いい換えて、おススメの理由をつけ足してみる

法福寺：お菊寺、大坂夏の陣ゆかりの地

山中溪：平安時代、参勤交代、枝垂れ桜、山中神社、熊野・紀州街道、巡礼の道、庄屋屋敷、街道の街並み、桜、おいしいたまごかけごはん、カフェがある

尾崎別院：南泉州の拠点、浄土真宗の中心地、格式が高い

塚谷古墳：謎の古墳、消えた古墳

舞村：廃村、芸能の村

波太神社：文化財が盛りだくさん、本殿は、重要文化財

清水大師：各地に残るお大師さん伝説、今も水が湧く地域の人は、持ち帰って、お茶・コーヒーなどに利用

西鳥取観音堂：平安時代の十一面観音、毎月18日に開帳、地域の住民が大切に管理して、お参りしている

和泉鳥取周辺の溜め池：言い伝えが残る溜め池（紙芝居あり）、近くに埋墓と庚申堂あり

架樋：阪南市内で、唯一の場所、農業用水を確保するためのもの、今で

も現役、阪南市が誇る近世土木遺産

(3)「物語性」のあるコース案としてまとめる。お昼ごはんやお土産が期待できる店舗もつけ足してみました。

物語性のあるコース案

タイトル	散策ポイント	おすすめのお店
① 巡礼の道に栄えた山中宿を満喫	山中溪、庄屋屋敷、山中神社、枝垂れ桜、熊野・紀州街道	卵かけごはん、カフェ
② はんなんの溜め池伝説をめぐる	濁池は紙芝居で説明、埋墓、庚申堂	清華園、ダイニング光、イルピアット、やぐら
③ 重要文化財の社殿と近世土木遺産を巡る	波太神社、架樋	清華園、ダイニング光、イルピアット、やぐら
④ 舞！なぞの古墳と消えた村の秘密を探訪	塚谷古墳、舞村の痕跡	蕎麦屋さん
⑤ 大坂夏の陣ゆかりの物語をたどり、阪南最古級の観音様を礼拝	お菊寺（法福寺）、西鳥取観音堂	英進丸名倉
⑥ 近世泉南の浄土信仰の拠点と、お大師さんゆかりの清水をめぐる	尾崎別院、清水大師、孝子越街道	辻八（和菓子）

※この他にも、「ようこそ阪南」や、これまでに作成した資料などで、検討したポイントをつけ足せば、よいものができるのではないかと。

※上記の案を基に、見直しを行い、企画案として、秋から現地確認で、回りやすさを確認することにした。

次回開催

日時：2024年8月19日（月）10:00～12:00

会場：市役所別棟 会議室5

内容：6つのプランを練り上げ、コミバス路線図を使って、具体的なルートの作成。

以上

阪南まちおこし夢テラス会議
検討会メンバー各位

コミバスで行く阪南探訪事業第4回検討会議議事録

開催日：2024年8月19日（月）10:00～12:30

場 所：阪南市役所別館会議室5

出席者：今井（部会長）、古川、岩橋、大西博、寺田（記録）

生涯学習推進室：山千代、河田

議事・検討・決定事項

1. コミバスで行く探訪コースの見直し

前回でき上がった6つの素案を再確認すると共に、付け足してできる散策ポイントはないか、二重でチェックした。

まず、一覧表を見ながら、チェック。次に行程を決めてから、付近に魅力的な散策ポイントがないか、各自がプランを確認しながら念入りに検討した。

結果、6つのプランが7つ、16の散策ポイントが47になった

今回でき上がった7つの素案

タイトル	散策ポイント（ルート順）
① 巡礼の道に栄えた山中宿を満喫	8:30 阪南市役所→8:56 山中溪→熊野紀州街道→山中宿→山中神社→枝垂れ桜→庄屋屋敷→たまご屋 tamaco→賽の神→わんぱく王国→12:58 山中溪
	おすすめの店：たまご屋 tamaco
② はんなんの溜め池伝説をめぐ	9:30 阪南市役所→伏拝の大鳥居→琵琶がけ（紙芝居）→にぎり池→庚申堂→高田池→山中川からの導水路→神武天皇腰掛石→12:57 玉田
	おすすめの店：ダイニング光、イルピアット、クウクウ
③ 重要文化財の社殿 波太神社を満喫	9:30 尾崎駅前→10:04 波太神社前→祐道寺→波太神社→鳥取神社→蓮池→首斬り地藏→13:43 波太神社
	おすすめの店：精華園、トレイン、たこ焼き

④舞！なぞの古墳と 消えた村の秘密を探訪	8：33 阪南市役所→8：51 舞4丁目→塚谷古墳→舞村→貝掛松の碑→貝掛の古民家カフェ→小女郎稲荷→12：11 鳥取ノ荘駅前 おすすめの店：貝掛の古民家カフェ、バビィズ
⑤大坂夏の陣ゆかりの物語をたどりはんなんの最古級の観音様を礼拝	8：33 阪南市役所→鳥取ノ荘駅前→西鳥取公民館→法福寺→銀座通り→西鳥取観音堂→楫取神社→西鳥取漁港→勇夫善六の墓→14：07 鳥取ノ荘 おすすめの店：英進丸、カキ小屋
⑥近世泉南の浄土信仰の拠点とお大師さんゆかりの清水をめぐる	9：30 阪南市役所→尾崎町役場跡→尾崎別院→本舗辻八(和菓子)→なごみ(えびの浜近く)→清水大師→稱念寺→古家家→12：11 鳥取ノ荘 おすすめの店：辻八、なごみ
⑦ぶらりはんなん！ 近世土木遺産をめぐる	9：30 尾崎駅→10：03 小川口→新池(しの池)扇状地→苗代池(湧き水の池)→取水口→架樋→導水路→河成段丘→11：42 小川口 おすすめの店：精華園、トレイン、やぐら

現地見学では、以下の項目をチェックしながら、下見をする。

- ①トイレ②駐車場③コンビニ④ビューポイント(朝日、夕日、見晴らしのいい景観が見える場所と方向を矢印で図示)⑤おすすめの季節(花、並木、紅葉、新緑など)⑥新たに発見したおすすめの店⑦危険なところ⑧弁当が食べられる場所(公共施設、ベンチのある公園など)

以 上

阪南まちおこし夢テラス会議
 検討会メンバー各位

コミバスで行く阪南探訪事業第5回検討会議議事録

開催日：2024年9月28日（土）9：30～11：30

場 所：市民活動センター3F活動ルーム1

出席者：今井（部会長）、清末、岩橋、大西博、寺田（記録）

生涯学習推進室：河田

議事・検討・決定事項

1. コミバスで行く探訪コースの見直し

前回でき上がった7つの案にプラスして、今までに検討してきた案で、是非追加したい案4つを入れて、計11のコースとした。このコースについて、詳細を詰めることにした。

コースタイトル	散策ポイント（ルート順）
①巡礼の道に栄えた山中宿を満喫	8：30 阪南市役所→8：56 山中溪→熊野紀州街道→山中宿 →山中神社→枝垂れ桜→庄屋屋敷→たまご屋 tamaco→賽の神→ わんぱく王国→12：58 山中溪
	おすすめの店：たまご屋 tamaco
②はんなんの溜め池伝説をめぐる	9：30 阪南市役所→9：44 和泉鳥取駅→伏拝の大鳥居→琵琶が け（紙芝居）→にごり池→庚申堂→高田池→山中川からの導水路→ 神武天皇腰掛石→11：39 平見
	おすすめの店：ダイニング光、イルビアット、クウクウ
③重要文化財の社殿！ 波太神社 と周辺の社寺をめぐる	9：30 尾崎駅前→10：04 波太神社前→祐道寺→波太神社→鳥 取神社→蓮池→首斬り地藏→11：45 石田
	おすすめの店：精華園、トレイン、たご焼き
④舞！なぞの古墳と 消えた村の秘密を探訪	8：33 阪南市役所→8：51 舞4丁目→塚谷古墳→舞村→貝掛松 の碑→貝掛の古民家カフェ→小女郎稲荷→12：11 鳥取ノ荘駅前
	おすすめの店：貝掛の古民家カフェ、バビィズ

<p>⑤大坂夏の陣ゆかりの物語をたどり はんなんの最古級の観音様を礼拝</p>	<p>8 : 3 3 阪南市役所→8 : 5 9 鳥取ノ荘駅前→西鳥取公民館→法福寺→銀座通り→西鳥取観音堂→榊取神社→西鳥取漁港→勇夫善六の墓→1 2 : 1 1 鳥取ノ荘</p>
	<p>おすすめの店：英進丸、カキ小屋</p>
<p>⑥近世泉南の浄土信仰の拠点とお大師さんゆかりの清水をめぐる</p>	<p>9 : 3 0 阪南市役所→尾崎町役場跡→尾崎別院→本舗辻八(和菓子)→なごみ(えびの浜近く)→清水大師→稱念寺→古家家→1 2 : 1 1 鳥取ノ荘</p>
	<p>おすすめの店：辻八、なごみ</p>
<p>⑦ぶらりはんなん！ 近世土木遺産をめぐる</p>	<p>9 : 3 0 尾崎駅→1 0 : 0 3 小川口→新池(しの池)扇状地→苗代池(湧き水の池)→取水口→架樋→導水路→河成段丘→1 1 : 4 2 小川口</p>
	<p>おすすめの店：精華園、トレイン、やぐら</p>
<p>⑧男里川下流の自然と周辺の史跡をめぐる</p>	<p>9 : 1 7 尾崎駅→9 : 2 7 尾崎公団北→大阪湾と関空の景色を見る→砂丘跡→干潟→兔砥橋→旧孝子越街道跡→日限地藏→孝子越街道道標→尾崎港→弁財天→酒蔵→尾崎駅前</p>
<p>⑨箱の浦の山中新田、山中家の墓、寺社跡を訪ね、その偉業を偲ぶ</p>	<p>9 : 4 5 阪南市役所→1 0 : 0 9 南山中→山中新田→泉福寺・貴船神社跡→SDGs 茶畑→箱の浦住宅→田山稻荷神社→游来の滝→1 2 : 2 1 加茂神社</p>

<p>⑩茶屋川、箱作自然海岸と多くの植物観察、里海公園での楽しいウォーキング</p>	<p>9：30尾崎駅→9：47→茶屋川→宗福寺→人名橋→中世の館跡→箱作自然海岸→里海公園→ヒトモトススキ→加茂神社→12：05箱作駅前</p>
<p>⑪自然田、鳥取中を訪ね、史蹟と抜水施設の偉業を学ぶ</p>	<p>9：30尾崎駅→9：39平見→坂ノ口地藏尊→南家住宅→自然居士旧跡→瑞寶寺→抜水の施設（井戸・洗い場・湧泉之碑・抜水水路・水田）→三本松→市役所</p>

2. 案内シートの施設（場所）毎の説明書きの作成担当を決める。

河田さんの方で、一部作成して頂いた説明書きの完成をさせたい。そのための担当を以下の如く決めた。完成次第、寺田まで提出して頂く（手書きで可）。

メンバーには、寺田の方でコピーしてお渡しする。

- ①近世巡礼の道に栄えた山中宿を満喫（担当：大西博）
- ②はんなんの溜め池伝説めぐる（担当：大西博）
- ③重要文化財の社殿！ 波太神社と周辺の寺社をめぐる（担当：寺田）
- ④紙芝居でめぐる舞！ なぞの古墳と消えた村（担当：今井）
- ⑤大坂夏の陣ゆかりの物語をたどり はんなん最古級の観音像を礼拝
(担当：大西善)
- ⑥近世泉南の浄土信仰の拠点と お大師さんゆかりの清水をめぐる（担当：清末）
- ⑦ぶらりはんなん！ 近世土木遺産をめぐる（担当：寺田）
- ⑧男里川下流の自然と周辺の史跡を学ぶ（担当：清末）
- ⑨箱の浦の山中新田、山中家の墓、寺社跡を訪ね、その偉業を偲ぶ（担当：古川・岩橋）
- ⑩茶屋川、箱作自然海岸と多くの植物観察、里海公園での楽しいウォーキング
*（担当：古川・岩橋）
- ⑪自然田、鳥取中を訪ね、史蹟と抜水施設の偉業を偲ぶ（担当：今井）

3. 各コースの行程を地図に表す

各コースの行程を地図に表しているが、正確でない。コースが確定次第、正確に記入する。

以上

阪南まちおこし夢テラス会議
検討会メンバー各位

コミバスで行く阪南探訪事業第6回検討会議事録

開催日：2025年1月8日（水）10：30～11：30

場 所：市民活動センター3F活動ルーム1

出席者：今井（部会長）、清末、岩橋、大西博、大西善、古川、前原、
寺田（記録）

議事・検討・決定項

1. コミバスで行く探訪事業の1年目の成果品についての確認

パンフレット作成の素案として、以下三つの紙ベースでの提出をもって業務を終える。

- ①コミバスを活用した企画案11コース（詳細は別紙）の提案。
- ②企画案ポイント選定と各ポイントの解説文。（11ルート中9ルート済み）
- ③企画案に基づき、各ポイント毎に地図を作成し、解説文レイアウトしたものを作成。

この成果品をもって、今年度成果発表及び次年度モニターツアーの素案とする。

2. 完成に向けての当面の予定

①コミバス探訪コース企画案の現地確認

1月31日（金）9：00集合、9：17尾崎駅前スタート（尾崎コース）
男里川下流の自然と周辺の史跡をめぐる

②コミバス探訪の現地確認

2月5日（水）13：30集合、11：38阪南市民病院スタート（光陽台・舞
コース）大坂夏の陣ゆかりの物語をたどり、観音様を礼拝

③ コミバス探訪の現地確認

2月27日（木）9：20集合、9：30阪南市役所徒歩スタート（光陽台・舞
コース）

近世泉南の浄土信仰の拠点とお大師さんゆかりの清水をめぐる

④コミバス探訪の現地確認

3月7日（金）9時20集合、9：30尾崎駅前スタート（緑ヶ丘・さつき台コ
ース）

ぶらりはんなん！近世土木遺産をめぐる

⑤2月中～下旬にコミバス探訪検討会議を開く。

2月16日（日）定例会の一部を使って開催する。

議題は、

- (1) 進捗状況の確認。
- (2) パンフレット作成の打合せ。
- (3) 来年度、モニターツアーの実施をするが、モニターツアーをどういう形で実施するか、その企画をする。

→この企画内容を総会にかけて、来年度事業として、6月以降、新体制で実施する。

2. コミバス利用コース検討調査票No.8 報告の件

1 2月22日（日）、山中溪周辺について、調査した。当初、8：30 阪南市役所スタートであった。早朝であること、便数が少ないことから、和泉鳥取駅集合、行きは10：05 JR に乗り、山中溪駅下車、帰りは、コミバスで12：58 山中溪駅乗車、13：05 和泉鳥取駅前下車とすることにした。また、案内個所の順番の見直し、追加を行った。

→この内容で了解された。

3・成果発表会開催について

成果は発表会で発表する資料は、成果品素案とする。

3月中に開催予定。

以 上

コミバス利用コース検討調査票

No.1

調査年月日：2024年4月25日（木） 天候：晴	調査員（今井）（岩橋）（寺田）（大西博） （樋野）（野林）（前原）（片山） 計8人	記録者 	
コース名：緑ヶ丘・さつき台コース 波太神社			
便名：第2便	乗車停留所：（市民病院前）	出発時間：（9：33）	乗車人数：3人
	下車停留所：（波太神社前）	下車時間：（10：04）	乗車人数：15人
便名：第4便	再乗車停留所：（波太神社前）	出発時間：（11：43）	乗車人数：7人
	下車停留所：（尾崎駅前）	下車時間：（11：54）	乗車人数：9人
※乗車人数には、夢テラスメンバー含まず			
乗車者の特徴（年齢層、男女別、身体の不自由な人の乗車等）			
<ul style="list-style-type: none"> ・行きは、60才以上で、男女半々、和泉鳥取駅でJRに連絡、2人程が下車した。 ・帰りは、南海電車を利用される20-30歳代の方が数人いた。 			
コース設定（案）内容			
（行程・案内場所・時間配分等具体的に）			
波太神社で、約1時間案内することで、内容を検討した。			
樋野先生が作成した資料を基に、主な内容として次の8項目を入れる必要がある。			
①鳥取の地名と波太神社のおこり			
②波太神社の歴史			
③祭神（本殿、相殿）			
④社殿			
⑤神仏分離と神社の合祀令			
⑥境内の石造物（鳥居、狛犬、村が奉納した燈籠、祇園南海野手水石、拝み石）			
⑦宝物（三十六歌仙額）			
⑧祭礼			
特記事項（注意すべき点等、があればに記入）			
<ul style="list-style-type: none"> ・コミバスには、制約時間があり、午前中に利用できる時間としては、80分である。 ・波太神社以外では、近くに祐道寺、蓮池、首切り地蔵がある。どこまで含めるか、次回検討する。 			
交通費（使用交通、コミバス、電車の区別）			
調査員1：（氏名：今井）	コミバス（200円）	調査員2：（氏名：岩橋）	コミバス（200円）
調査員3：（氏名：寺田）	コミバス（200円）	調査員4：（氏名：大西博）	コミバス（200円）
調査員5：（氏名：樋野）	コミバス（200円）	調査員6：（氏名：野林）	コミバス（200円）
調査員7：（氏名：前原）	コミバス（200円）	調査員8：（氏名：片山）	コミバス（200円）
合計：1,600円			

2024.4.14作成

コミバス利用コース検討調査票

No. 2

調査年月日：2024年5月16日（木） 天候：曇り	調査員（古川）（片山）（今井）（岩橋） （寺田）（樋野）（野林） 計7人	記録者 
------------------------------	---	--

コース名：いずみが丘・箱の浦コース

南山中

便名：第3便	乗車停留所：（市役所前）	出発時間：（ 9：45）	乗車人数： 0人
	下車停留所：（南山中）	下車時間：（10：09）	乗車人数： 2人
便名：第5便	再乗車停留所：（箱作公園前）	出発時間：（12：06）	乗車人数： 2人
	下車停留所：（市役所前）	下車時間：（12：34）	乗車人数： 4人

※乗車人数には、夢テラスメンバー含まず

乗車者の特徴（年齢層、男女別、身体の不自由な人の乗車等）

- ・行き帰り共に殆どが、女性の方であった。（男性の方は1人）

コース設定（案）内容

（行程・案内場所・時間配分等具体的に）

樋野先生が作成した資料を基に、南山中で2時間の観光コースを検討した。

10分	20分	15分	20分	15分
南山中バス亭 →	山中新田居宅 →	市役所SDGs →	箱の浦住宅 →	遊来の滝 →
	泉福寺、貴船神社	の茶畑	山中家墓地と	
	跡	5分	村の墓地	15分
	10分		10分	

箱作公園前

- ・この時間配分で、2時間となる。
- ・市役所のSDGsの茶畑を外して、その代わりに田山稲荷神社を入れたらどうかとの意見があった。
- ・再乗車停留所として、箱作公園前で乗ったが、ここで乗ると、また南山中に戻ることになるので、遊来の滝から、ほぼ同距離の加茂神社前で乗った方が、良いのではないかと。

特記事項（注意すべき点等、があればに記入）

- ・遊来の滝は、川沿いにロープが張っており、安全に登り、下りできるようになっていた。
- ・遊来の滝は雨上がりで、水量も多く、勇壮であった。

交通費（使用交通、コミバス、電車の区別）

調査員1：（氏名：古川）コミバス（200円）	調査員2：（氏名：片山）コミバス（200円）
調査員3：（氏名：今井）コミバス（200円）	調査員4：（氏名：岩橋）コミバス（200円）
調査員5：（氏名：寺田）コミバス（200円）	調査員6：（氏名：樋野）コミバス（200円）
調査員7：（氏名：野林）コミバス（200円）	合計：1400円

2024.4.14作成

コミバス利用コース検討調査票

No.3

調査年月日：2024年5月23日（木） 天候：晴	調査員（清水）（大西博）（片山）（今井） （岩橋）（寺田）（野林） 計7人	記録者 
-----------------------------	--	--

コース名：桃の木台・万葉台コース

桃の木台

便名：第2便	乗車停留所：（市役所前）	出発時間：（9：35）	乗車人数：2人
	下車停留所：（桃の木台1丁目）	下車時間：（9：54）	乗車人数：3人
便名：第1便	再乗車停留所：（桃の木台1丁目）	出発時間：（12：02）	乗車人数：4人
	下車停留所：（市役所前）	下車時間：（12：22）	乗車人数：0人

※乗車人数には、夢テラスメンバー含まず

乗車者の特徴（年齢層、男女別、身体の不自由な人の乗車等）

・行きは、男女各1人が乗車、帰りは、女性のみ4人であった。

コース設定（案）内容

（行程・案内場所・時間配分等具体的に）

ニュータウンの街並みを見て歩く、2時間の観光コースを検討した。

1丁目バス亭 → 1丁目 → 5丁目 → 桃の木台 → 7丁目 → 中央公園
4丁目 → 3丁目 → 1丁目バス亭

- ・この地は、関西空港の埋立用の土砂採取が行われた。その跡地に阪南スカイタウンが造られた。
- ・どういうコンセプトで、このニュータウンが造られたのかを知ることは、大切である。レンガを敷き詰めた小道は、曲がっている。住宅地の中に小公園や広場があり、家と家との間にブロックの垣根がない等、市内の他の住宅地には、見られない造りになっている。
- ・広い中央公園があり、木や花の種類も多くみられる。

特記事項（注意すべき点等、があればに記入）

- ・時間的には、2時間で十分であり、木や花の名前を憶えて、説明できるようにしておくといよい。

交通費（使用交通、コミバス、電車の区別）

調査員1：（氏名：清水）コミバス（200円）	調査員2：（氏名：大西博）コミバス（200円）
調査員3：（氏名：片山）コミバス（200円）	調査員4：（氏名：今井）コミバス（200円）
調査員5：（氏名：岩橋）コミバス（200円）	調査員6：（氏名：寺田）コミバス（200円）
調査員7：（氏名：野林）コミバス（200円）	合計：1400円

2024.4.14作成

コミバス利用コース検討調査票

No. 4

調査年月日：2024年6月13日（木） 天候：晴		調査員（今井）（岩橋）（片山） （大西博）（寺田） 計5人		記録者 					
コース名：緑ヶ丘・さつき台コース 自然田・鳥取中									
便名：第2便	乗車停留所：（尾崎駅前）	出発時間：（ 9：30）	乗車人数： 3人						
	下車停留所：（平 見）	下車時間：（ 9：39）	乗車人数： 0人						
便名：第 便	再乗車停留所：（ ）	出発時間：（ ： ）	乗車人数： 人						
	下車停留所：（ ）	下車時間：（ ： ）	乗車人数： 人						
※乗車人数には、夢テラスメンバー含まず									
乗車者の特徴（年齢層、男女別、身体の不自由な人の乗車等） ・市民病院行きの老人（女性）1人が阪南市民病院で下車した。									
コース設定（案）内容 （行程・案内場所・時間配分等具体的に） 自然田・鳥取中中心部で、約2時間の観光コースを検討した。									
	5分	3分	5分	10分	3分	10分	5分	15分	15分
平見バス亭	→	坂ノ口地藏尊	→	南家住宅	→	自然居士 旧跡	→	瑞寶寺	→
20分	10分	2分	20分						
抜水の施設	→	三本松	→	市役所					
井戸・洗い場				徒歩					
湧泉之碑									
抜水の水路									
水田									
☆再乗車バス亭は、三本松になるが、市役所まで近いので、コミバスには乗らず、歩く方法をとった。									
特記事項（注意すべき点等、があればに記入） ・このコースは、内容豊富な史蹟があり、参加者に興味を持って頂けると思う。 ・南家住宅、自然居士旧跡は、草が生い茂り、管理が行き届いていない。このままでは、お客に見せられない。 ・ツバメが子育てをする季節であり、巣づくりに苦労している。コースを歩きながら、どういう家に巣をつくるのか、見て歩くのも楽しい。									
交通費（使用交通、コミバス、電車の区別）									
調査員1：（氏名：今井）コミバス（100円）		調査員2：（氏名：岩橋）コミバス（100円）							
調査員3：（氏名：片山）コミバス（100円）		調査員4：（氏名：大西博）コミバス（100円）							
調査員5：（氏名：寺田）コミバス（100円）		合計：500円							

2024.4.14作成

コミバス利用コース検討調査票

No.5

調査年月日：2024年6月27日（木） 天候：曇り	調査員（清末）（今井）（岩橋） （片山）（寺田） 計5人	記録者 							
コース名：緑ヶ丘・さつき台コース 和泉鳥取駅周辺									
便名：第2便	乗車停留所：（尾崎駅前） 下車停留所：（和泉鳥取駅前）	出発時間：（ 9：30） 下車時間：（ 9：44） 乗車人数： 3人 乗車人数： 5人							
便名：第4便	再乗車停留所：（和泉鳥取） 下車停留所：（尾崎駅前）	出発時間：（11：40） 下車時間：（11：54） 乗車人数：15人 乗車人数： 0人							
※乗車人数には、夢テラスメンバー含まず									
乗車者の特徴（年齢層、男女別、身体の不自由な人の乗車等） ・乗車時3人（男2人、女1人）、和泉鳥取駅3人下車。再乗車では、乗客満員で、座れない人が3人程いた。									
コース設定（案）内容 （行程・案内場所・時間配分等具体的に） 和泉鳥取駅周辺でコースを検討した。（和泉鳥取駅前から和泉鳥取バス亭までの全コースは、約120分）									
7分	7分	5分	10分	5分	10分	10分	5分	10分	3分
和泉鳥取駅	→	琵琶ヶ岸懸	→	濁り池	→	埋め墓	→	庚申堂	→
伏拝鳥居						粘土山跡			
六字名号碑									
10分	5分	5分	3分	10分	15分				
高田池	→	山中川	→	神武天皇の	→	和泉鳥取			
高田山跡		高田池導水路		腰掛石					
高田原									
☆再乗車バス停を和泉鳥取としたが、手前の平見の方が近いので、そちらにした方が良いとの意見があった。									
特記事項（注意すべき点等、があればに記入） ・このコースは、史跡と景観（自然環境）が楽しめる良いコースであると思った。 ・伏拝鳥居の前では、紙芝居「いずみとっりの伏拝大鳥居」を実演したら良いとの意見があった。									
交通費（使用交通、コミバス、電車の区別）									
調査員1：（氏名：清末）コミバス（200円）	調査員2：（氏名：今井）コミバス（200円）								
調査員3：（氏名：岩橋）コミバス（200円）	調査員4：（氏名：片山）コミバス（200円）								
調査員5：（氏名：寺田）コミバス（200円）	合計：1,000円								

2024.4.14作成

調査年月日：2024年10月31日（木） 天候：晴	調査員（今井）（古川）（寺田） （清末）計4人 オブザーバー河田	記録者 
------------------------------	-------------------------------------	--

コース名：光陽台・舞コース
舞・貝掛周辺（コースの名称変更）

便名：第4便	乗車停留所：（阪南市民病院前）	出発時間：（13：38）	乗車人数：12人
	下車停留所：（舞4丁目）	下車時間：（13：57）	乗車人数：4人
便名：第6便	再乗車停留所：（鳥取ノ荘駅前）	出発時間：（15：43）	乗車人数：人
	下車停留所：（阪南市役所）	下車時間：（15：55）	乗車人数：人

※乗車人数には、夢テラスメンバー含まず

乗車者の特徴（年齢層、男女別、身体の不自由な人の乗車等）
 ・阪南市民病院前乗車時は、12人（男女半々）、高齢者で、病院・スーパー帰りの人と思われる高齢者が乗車された。
 ・舞4丁目の乗車者は、男女半々で高齢者が乗車された。

コース設定（案）内容
（行程・案内場所・時間配分等具体的に）

舞周辺で、あらかじめ設定されたコースを検討した。（阪南市民病院前から鳥取ノ荘駅前までの全コースは、約120分）

15分	7分	15分	10分	5分	10分	10分	7分	3分	
舞4丁目	→	塚谷古墳 (舞幼稚園内)	→	(棚田) 追加	→	舞村跡	→	貝掛松の碑	→
5分	10分								
小女郎稲荷	→	鳥取ノ荘駅前	→	阪南市役所					

※小女郎稲荷は、鳥居が壊れ管理されていない。見せられないのでコース変更案が出された。
 ※古民家カフェ（COCOいこっと）は、当初案にあったが、月1回しか開かれず、利用価値が低い、コースから外した。
 コース変更案 10分 5分 5分 15分 5分
 舞村跡 → 孝子越街道 → 指出森神社 → 貝掛停留所 → 阪南市役所
 道標 (桃の木台・万葉台コース第6便15：44)

特記事項（注意すべき点等、があればに記入）
 ・このコースは、小女郎稲荷の傷みが激しく見せられないということもあり、貝掛に抜けるコースをとった方が、観光価値もあり良いと思われる。帰りのバスは、貝掛の停留所が利用できる。

交通費（使用交通、コミバス、電車の区別）

調査員1：（氏名：今井）コミバス・電車（280円）	調査員2：（氏名：古川）コミバス・電車（280円）
調査員3：（氏名：寺田）コミバス・電車（280円）	調査員4：（氏名：清末）コミバス・電車（280円）
※行きはコミバス（100円）使用、帰りは鳥取ノ荘→尾崎（180円）使用。 合計：1,120円	

2024.4.14作成

調査年月日：2024年11月30日（土） 天候：晴	調査員（今井）（古川）（岩橋） （八木）（寺田）計5人 オブザーバー河田	記録者 						
コース名：緑ヶ丘・さつき台コース 石田周辺								
便名：第4便	乗車停留所：（尾崎駅前） 下車停留所：（波太神社前）	出発時間：（9：30） 下車時間：（10：04）	乗車人数：0人 乗車人数：13人					
便名：第6便	再乗車停留所：（石田） 下車停留所：（尾崎駅前）	出発時間：（11：45） 下車時間：（11：54）	乗車人数：10人 乗車人数：0人					
※乗車人数には、夢テラスメンバー含まず								
乗車者の特徴（年齢層、男女別、身体の不自由な人の乗車等） ・阪南市民病院、スーパーへ行かれると思われる老人（女性の方がやや多い）が乗られ、さつき台の辺りでほぼ満席、席に座れない人が数人いた。								
コース設定（案）内容 （行程・案内場所・時間配分等具体的に） 石田周辺で、あらかじめ設定されたコースを検討した。（尾崎駅前から石田までの全コースは、約130分）								
2分 波太神社前	10分 → 祐道寺	2分 → 鳥取神社	10分 → 波太神社	0分 → 蓮池	40分 →	4分 →	10分 →	5分 →
10分 首斬り地蔵	8分 → 石田	→ 尾崎駅前						
※このコースでは、波太神社にウエートを置いたガイドになる。波太神社の説明に40分程を取る必要がある。 ※祐道寺で、住職から詳しい説明を受けた。時間的にも本堂に入る余裕はないのではないか。鉦講、観音堂の説明を入れる必要がある。 ※鳥取神社の説明は、波太神社の説明途中から入り、波太神社の説明と合わせて説明するのが良い。時間的にも鳥取神社単独での説明は無理がある。 ※波太神社の説明は①鳥取の地名と波太神社のおこり②波太神社の歴史③祭神（本殿、相殿）④社殿⑤神仏分離と神社の合祀令⑥境内の石造物（鳥居、狛犬、村が奉納した燈籠、祇園南海の手水石、拝み石）⑦宝物（三十六歌仙額）⑧祭礼を入れる必要がある。								
特記事項（注意すべき点等、があればに記入） ・このコースの設定・時間配分は適切である。								
交通費（使用交通、コミバス、電車の区別） 調査員1：（氏名：今井）コミバス（200円） 調査員2：（氏名：古川）コミバス（200円） 調査員3：（氏名：岩橋）コミバス（200円） 調査員4：（氏名：八木）コミバス（200円） 調査員5：（氏名：寺田）コミバス（200円） 合計：1,000円								

2024.4.14作成

調査年月日：2024年12月22日（日） 天候：曇り	調査員（古川）（岩橋）（今井）（八木）（寺田） （大西博）計6人 オブザーバー山千代、河田	記録者 
-------------------------------	--	--

コース名：山中溪・桜ヶ丘コース
山中溪周辺

便名：第2便	乗車停留所：（阪南市役所）	出発時間：（ 8：30）	乗車人数： 人
	下車停留所：（山中溪駅前）	下車時間：（ 8：56）	乗車人数： 人
便名：第3便	再乗車停留所：（山中溪駅前）	出発時間：（12：58）	乗車人数： 人
	下車停留所：（阪南市役所）	下車時間：（13：26）	乗車人数： 人

※乗車人数には、夢テラスメンバー含まず

乗車者の特徴（年齢層、男女別、身体の不自由な人の乗車等）

※山中溪までは、各自それぞれの交通手段で行った。

コース設定（案）内容

（行程・案内場所・時間配分等具体的に）

山中溪周辺で、あらかじめ設定されたコースは、次の内容であった。（阪南市役所から山中溪までの全コースは、約270分）

8：30 阪南市役所 → 8：56 山中溪駅前 → 熊野・紀州街道 → 山中宿 → 山中神社 → 枝垂れ桜 → 庄屋屋敷 → たまご屋tamaco → 賽の神 → わんぱく王国 → 12：58 山中溪駅前

※出発時間が早朝であること、コミバスの便数が少なく、この問題を解決するためJR泉鳥取駅を集合・スタート場所とする。行きはJR、帰りはコミバスを使用する。また、案内コース、場所、順番等の見直しを行い、次の内容とすることを提案する。

（コースのトータル時間は、約160分）

	3分	2分	10分	5分	2分	7分					
10:05JR和泉鳥取駅（電車）	→	10：7山中溪駅前	→	熊野・紀州街道「歴史の道」	→	賽の神	→	山中宿			
	3分	15分	3分	7分	2分	30分	12分	10分	20分	20分	5分
本陣跡	→	山中神社	→	旧庄屋宅跡	→	地福寺	→	馬目王子跡	→	わんぱく王国	→

12：58 山中溪駅前（コミバス）

※馬目の王子跡から、わんぱく王国へは、歴史街道を通らず、自動車道を通って、桜並木を紹介しながら歩く。

※たまご屋tamacoの店は、2024年12月現在、金、土、日、祝日に開かれている。毎日開かれていないこと、この店に入ることを希望しない人もおられると思われるので、紹介することに留め、コースから外すことにした。

特記事項（注意すべき点等、があればに記入）

・このコースの設定・時間配分は適切である。

交通費（使用交通、コミバス、電車の区別）

調査員1：（氏名：古川）コミバス・JR（340円）	調査員2：（氏名：岩橋）コミバス・JR（340円）
調査員3：（氏名：今井）コミバス・JR（340円）	調査員4：（氏名：八木）コミバス・JR（340円）
調査員5：（氏名：寺田）コミバス・JR（340円）	調査員6：（氏名：大西博）コミバス・JR（340円）
合計：2,040円	

2024.4.14作成

調査年月日：2025年1月31日（金） 天候：晴	調査員（古川）（岩橋）（今井）（清末）（寺田） （大西博）計6人	記録者 
-----------------------------	-------------------------------------	--

コース名：尾崎コース

尾崎男里川周辺

便名：第1便	乗車停留所：（尾崎駅前）	出発時間：（ 9：17）	乗車人数：1人
	下車停留所：（尾崎公団北）	下車時間：（ 9：27）	乗車人数：0人
便名：第 便	再乗車停留所：（ ）	出発時間：（ : ）	乗車人数： 人
	下車停留所：（ ）	下車時間：（ : ）	乗車人数： 人

※乗車人数には、夢テラスメンバー含まず

乗車者の特徴（年齢層、男女別、身体の不自由な人の乗車等）

※行きはコミバスを使用、帰りは尾崎駅前まで徒歩。

コース設定（案）内容

（行程・案内場所・時間配分等具体的に）

尾崎男里川周辺で、あらかじめ設定されたコースは、次の内容であった。

9：17尾崎駅前→9：27尾崎公団北→大阪湾と関空の景色を見る→砂丘跡→干潟→兔砥端→旧孝子越街道跡→日限地蔵→孝子越街道道標→尾崎港→弁財天→酒蔵→尾崎駅前

※大阪湾と空の景色を見るのであれば、二つ先の「福島第3児童遊園」下車の方が良い。

※住宅地が立ち並び「砂丘跡」は無くなっている。コースからは外すが、この地に砂丘があったことを説明する必要がある。

※実際に干潟まで歩いて行き、蟹などの生物、植物の観察をする。渡り鳥の休息地でもあるので、渡り鳥の観察もできる。河川敷を歩いて干潟を観察しながら兔砥橋まで歩く。

※酒蔵へは、井関越街道から入るのではなく、手前の孝子越街道から入り、土壁の酒蔵の建物を裏から見ながら歩くのも趣きがある。

コースを再検討して、次のコースを再設定する。（このコースのトータル時間は、約140分）

	12分	2分	5分	3分	15分	15分	3分	0分	
9：17尾崎駅前	→	9：29尾崎第3児童遊園	→	大阪湾と関空の景色を見る	→	干潟	→	兔砥橋	→
	3分	7分	7分	7分	4分	7分	15分	2分	5分
旧孝子越街道跡	→	日限地蔵	→	孝子越街道道標	→	尾崎港	→	弁財天	→
								酒蔵	→
									尾崎駅前

特記事項（注意すべき点等、があればに記入）

・このコースの設定・時間配分は適切である。

交通費（使用交通、コミバス、電車の区別）

調査員1：（氏名：古川）コミバス（100円）	調査員2：（氏名：岩橋）コミバス（100円）
調査員3：（氏名：今井）コミバス（100円）	調査員4：（氏名：清末）コミバス（100円）
調査員5：（氏名：寺田）コミバス（100円）	調査員6：（氏名：大西博）コミバス（100円）

合計：600円

調査年月日：2025年2月5日（水） 天候：晴のち曇り一時雪	調査員（今井）（古川）（岩橋）（大西博） （寺田） 計5人 オブザーバー河田	記録者 
-----------------------------------	---	--

コース名：光陽台・舞コース

西鳥取周辺

便名：第4便	乗車停留所：（阪南市民病院）	出発時間：（13：38）	乗車人数：2人
	下車停留所：（鳥取ノ荘駅前）	下車時間：（13：48）	乗車人数：2人
便名：第6便	再乗車停留所：（鳥取ノ荘駅前）	出発時間：（15：43）	乗車人数：人
	下車停留所：（阪南市役所）	下車時間：（15：55）	乗車人数：人

※乗車人数には、夢テラスメンバー含まず

乗車者の特徴（年齢層、男女別、身体の不自由な人の乗車等）

・阪南市民病院から帰る客と思われる男性、女性の老人2人が乗車。

コース設定（案）内容

（行程・案内場所・時間配分等具体的に）

西鳥取周辺で、あらかじめ設定されたコースを検討した。（阪南市民病院から鳥取ノ荘駅前までの全コースは、約130分）

10分	5分	10分	2分	30分	4分	10分			
13：38 阪南市民病院前	→	13：48 鳥取ノ荘駅前	→	西鳥取公民館	→	法福寺	→	銀座通り	
1分	20分	5分	7分	5分	10分	2分	7分	15分	
→	西鳥取観音堂	→	楫取神社	→	西鳥取漁港	→	勇夫善六の墓	→	15：43 鳥取ノ荘駅前

※このコースでは、法福寺、西鳥取観音堂の2ヶ所にウエートを置いたガイドになる。法福寺では、大阪夏の陣にまつわるお菊の活躍したことの説明、本堂へ上がってお菊像にお参りを含め約30をかける。

西鳥取観音堂では、何故、この場所にあるのかの説明、観音様のお参りを含めて約20分をかける。

※このコースでは、トイレが少ないので、西鳥取公民館でトイレ休憩を入れると良い。

※楫取神社から西鳥取漁港へは、住宅街ではなく海岸道路に出て、堤防に上がると大阪湾の景色、突堤、波消しブロックなど海の景色が美しい。

特記事項（注意すべき点等、があればに記入）

・このコースの設定・時間配分は適切である。

交通費（使用交通、コミバス、電車の区別）

調査員1：（氏名：今井）コミバス・電車（280円）	調査員2：（氏名：古川）コミバス・電車（280円）
調査員3：（氏名：岩橋）コミバス・電車（280円）	調査員4：（氏名：大西博）コミバス・電車（280円）
調査員5：（氏名：寺田）コミバス電車（280円）	合計：1,400円

2024.4.14作成